

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考
委託	総則-13 (17)	<p>1-4-4 外業に伴う旅費交通費の考え方</p> <p>(1) 測量業務</p> <p>1) 通勤により業務を行う場合、歩掛中に連絡車（ライトバン）を計上してある作業種目については、連絡車（ライトバン）運転費は機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。</p> <p>2) 現地に滞在して業務を行う場合、歩掛中に連絡車（ライトバン）を計上してある作業種目については、滞在地から現地までの連絡車（ライトバン）運転費は機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。また、宿泊を伴う乗り込み、引き上げ（普通旅費）と宿泊（滞在日額旅費）を計上する。なお、日額旅費は計上しない。</p> <p>3) 片道30km以上もしくは片道所要時間1時間を超える場合は、現地に滞在して業務を行うこと。</p> <p>(2) 地質調査業務</p> <p>地質調査業務の連絡車（ライトバン）は歩掛に含まれていないため、<u>別途計上すること。</u></p> <p>宿泊については(1)測量業務と同じ。なお、日額旅費は計上しない。</p>	<p>1-4-4 外業に伴う旅費交通費の考え方</p> <p>(1) 測量業務</p> <p>1) 通勤により業務を行う場合、歩掛中に連絡車（ライトバン）を計上してある作業種目については、連絡車（ライトバン）運転費は機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。</p> <p>2) 現地に滞在して業務を行う場合、歩掛中に連絡車（ライトバン）を計上してある作業種目については、滞在地から現地までの連絡車（ライトバン）運転費は機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。また、宿泊を伴う乗り込み、引き上げ（普通旅費）と宿泊（滞在日額旅費）を計上する。なお、日額旅費は計上しない。</p> <p>3) 片道30km以上もしくは片道所要時間1時間を超える場合は、現地に滞在して業務を行うこと。</p> <p>(2) 地質調査業務</p> <p>地質調査業務において、連絡車（ライトバン）が含まれていない歩掛については、<u>間接調査費（旅費交通費）</u>に別途計上すること。</p> <p>宿泊については(1)測量業務と同じ。なお、日額旅費は計上しない。</p>	

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																																																																														
委託	総則-20 (24)	<p>1-13 冬期の歩掛補正</p> <p>1-13-1 冬期歩掛補正基準</p> <p>(1) 冬期屋外作業の歩掛補正は、11月1日以降に入札する測量、調査及び設計業務を対象とする。 その他、10月に入札するもので全屋外作業(外業)期間に占める冬期間(11月1日から3月31日まで)の割合が2分の1を超える場合について対象とする。</p> <p>(2) 歩掛補正は、屋外作業(外業)に従事する者を対象に行う。</p> <p>(3) 歩掛の補正は、期間別に次表の割合を標準として行う。</p> <p style="text-align: center;">歩 掛 補 正 率 表</p> <table border="1" data-bbox="432 502 1153 718"> <thead> <tr> <th rowspan="2">屋外作業の開始月</th> <th colspan="5">冬 期 割 増 率 (単位は%)</th> </tr> <tr> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 設計変更等により工期に伸縮を生ずる場合の補正率は、原則として当初設計の補正率による。ただし、当初補正率によることが著しく不適当なものについては、別途積算すること。</p> <p>(5) 歩掛の補正は、直接人件費・賃金に対して補正するものとし、次式により冬期補正直接人件費・賃金を算出して積算する。 $\text{冬期補正設計直接人件費・賃金} = \text{基本設計直接人件費・賃金} \times (1 + \text{冬期割増率})$</p> <hr style="border: 1px dashed red;"/> <p>1-13-2 冬期歩掛補正基準の運用</p> <p>(1) 屋外作業期間の設定について 屋外作業期間とは、発注される業務の中で屋外作業に要する期間である。 なお、屋外作業(外業)と屋内作業(内業)が交互に混在している場合は、最初の屋外作業(外業)開始日から最後の屋外作業(外業)終了日までを外業期間とする。よって外業期間は、当初発注前に作業内容及び工程等を十分に把握し経済的な屋外作業期間を設定しなければならない。</p> <p>(2) 労務費の補正について 労務費の補正は、補正の対象となる外業期間の外業歩掛について補正する。</p> <p>(3) 労務費以外の補正について 旅費交通費、機材賃料及び工期については補正しない。</p>	屋外作業の開始月	冬 期 割 増 率 (単位は%)					11月	12月	1月	2月	3月	10月	—	2	3	3	3	11月	—	3	3	4	3	12月	—	4	5	4	4	1月	—	—	5	5	4	2月	—	—	—	4	3	3月	—	—	—	—	2	<p>1-13 冬期の歩掛補正</p> <p>1-13-1 冬期歩掛補正基準</p> <p>(1) 冬期屋外作業の歩掛補正は、11月1日以降に入札する測量、調査、<u>設計</u>業務を対象とする。 その他、10月に入札するもので全屋外作業(外業)期間に占める冬期間(11月1日から3月31日まで)の割合が2分の1を超える場合について対象とする。</p> <p>(2) 歩掛補正は、屋外作業(外業)に従事する者を対象に行う。</p> <p>(3) 歩掛の補正は、期間別に次表の割合を標準として行う。</p> <p style="text-align: center;">歩 掛 補 正 率 表</p> <table border="1" data-bbox="1261 502 1982 718"> <thead> <tr> <th rowspan="2">屋外作業の開始月</th> <th colspan="5">冬 期 割 増 率 (単位は%)</th> </tr> <tr> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 設計変更等により工期に伸縮を生ずる場合の補正率は、原則として当初設計の補正率による。ただし、当初補正率によることが著しく不適当なものについては、別途積算すること。</p> <p>(5) 歩掛の補正は、直接人件費・賃金に対して補正するものとし、次式により冬期補正直接人件費・賃金を算出して積算する。 $\text{冬期補正設計直接人件費・賃金} = \text{基本設計直接人件費・賃金} \times (1 + \text{冬期割増率})$</p> <p><u>(6) 設計業務に伴う現地調査及び現地踏査については、歩掛補正の対象外とする。</u></p> <p>1-13-2 冬期歩掛補正基準の運用</p> <p>(1) 屋外作業期間の設定について 屋外作業期間とは、発注される業務の中で屋外作業に要する期間である。 なお、屋外作業(外業)と屋内作業(内業)が交互に混在している場合は、最初の屋外作業(外業)開始日から最後の屋外作業(外業)終了日までを外業期間とする。よって外業期間は、当初発注前に作業内容及び工程等を十分に把握し経済的な屋外作業期間を設定しなければならない。</p> <p>(2) 労務費の補正について 労務費の補正は、補正の対象となる外業期間の外業歩掛について補正する。</p> <p>(3) 労務費以外の補正について 旅費交通費、機材賃料及び工期については補正しない。</p>	屋外作業の開始月	冬 期 割 増 率 (単位は%)					11月	12月	1月	2月	3月	10月	—	2	3	3	3	11月	—	3	3	4	3	12月	—	4	5	4	4	1月	—	—	5	5	4	2月	—	—	—	4	3	3月	—	—	—	—	2	
屋外作業の開始月	冬 期 割 増 率 (単位は%)																																																																																																	
	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																													
10月	—	2	3	3	3																																																																																													
11月	—	3	3	4	3																																																																																													
12月	—	4	5	4	4																																																																																													
1月	—	—	5	5	4																																																																																													
2月	—	—	—	4	3																																																																																													
3月	—	—	—	—	2																																																																																													
屋外作業の開始月	冬 期 割 増 率 (単位は%)																																																																																																	
	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																													
10月	—	2	3	3	3																																																																																													
11月	—	3	3	4	3																																																																																													
12月	—	4	5	4	4																																																																																													
1月	—	—	5	5	4																																																																																													
2月	—	—	—	4	3																																																																																													
3月	—	—	—	—	2																																																																																													

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考
委託	調地積基-2 (346)	<p>1-2-2 構成費目の内容</p> <p>イ 一般調査業務費</p> <p>一般調査業務費は、高度な技術的判定を含まない単純な地質調査である。</p> <p>(イ) 純調査費</p> <p>a 直接調査費</p> <p>直接調査費は、業務に必要な経費のうち、次の(a)から(d)に掲げるものとする。</p> <p>(a) 材料費</p> <p>材料費は、当該調査を実施するのに要する材料の費用である。</p> <p>(b) 直接人件費</p> <p>業務に従事する者の人件費である。~~~~~</p> <p>(c) 機械経費</p> <p>直接調査に必要な機器の損料又は使用料とし、各調査の種別ごとに積算し計上する。</p> <p>(d) 直接経費</p> <p>① 電子成果品作成費</p> <p>電子成果品作成に要する費用を計上する。</p> <p>② 特許使用料</p> <p>特許使用料は、契約にもとづき支出する特許使用料及び派出する技術者等に要する費用の合計額とする。</p> <p>③ 水道光熱電力料</p> <p>水道光熱電力料は、当該調査に必要となる電力、電灯使用料及び用水使用料とする。</p>	<p>1-2-2 構成費目の内容</p> <p>イ 一般調査業務費</p> <p>一般調査業務費は、高度な技術的判定を含まない単純な地質調査である。</p> <p>(イ) 純調査費</p> <p>a 直接調査費</p> <p>直接調査費は、業務に必要な経費のうち、次の(a)から(d)に掲げるものとする。</p> <p>(a) 材料費</p> <p>材料費は、当該調査を実施するのに要する材料の費用である。</p> <p>(b) 直接人件費</p> <p>業務に従事する者の人件費である。~~~~~<u>(旅費交通費に係る基準日額を含む)</u></p> <p>(c) 機械経費</p> <p>直接調査に必要な機器の損料又は使用料とし、各調査の種別ごとに積算し計上する。</p> <p>(d) 直接経費</p> <p>① 電子成果品作成費</p> <p>電子成果品作成に要する費用を計上する。</p> <p>② 特許使用料</p> <p>特許使用料は、契約にもとづき支出する特許使用料及び派出する技術者等に要する費用の合計額とする。</p> <p>③ 水道光熱電力料</p> <p>水道光熱電力料は、当該調査に必要となる電力、電灯使用料及び用水使用料とする。</p>	
	調地積基-4 (348)	<p>1-4 電子成果品作成費</p> <p>~~~~~</p> <p>電子成果品作成費は次の計算式による。</p> <p>電子成果品費＝直接調査費（電子成果品作成費を除く）×0.016</p> <p>ただし、上限を200千円とする。</p> <p>~~~~~</p> <p>~~~~~</p> <p>~~~~~</p>	<p>1-4 電子成果品作成費</p> <p>~~~~~<u>(1)地質調査業務（一般調査）</u></p> <p>電子成果品作成費は次の計算式による。</p> <p>電子成果品費＝直接調査費（電子成果品作成費を除く）×0.016</p> <p>ただし、上限を200千円とする。</p> <p>~~~~~<u>(2)地質調査業務（解析等調査）</u></p> <p><u>設計編〔1〕設計業務委託積算基準 1-6 電子成果品作成費 (2)その他の設計業務（(1)以外）による。ただし、別途算出方法が示されている歩掛は除く。</u></p>	
	調地市場-25 (375)	<p>9. 電子成果品作成費等</p> <p>9-1 電子成果品作成費</p> <p>〔1〕地質積算基準 1-4 電子成果品作成費~~~~~による。</p> <p>但し、<u>解析等調査（一般調査費除く）については、設計編〔1〕設計業務委託積算基準 1-6 電子成果品作成費 (2)その他の設計業務（(1)以外）による。</u></p> <p>9-2 施工管理費</p> <p>施工管理費は出来形管理及び写真撮影等を含むものとし直接調査費の0.7%を計上する。</p>	<p>9. 電子成果品作成費等</p> <p>9-1 電子成果品作成費</p> <p>〔1〕地質積算基準 1-4 電子成果品作成費~~~~~<u>(1)地質調査業務（一般調査）</u>による。</p> <p><u>なお、解析等調査業務費分については、単価に含まれている。</u></p> <p>9-2 施工管理費</p> <p>施工管理費は出来形管理及び写真撮影等を含むものとし直接調査費の0.7%を計上する。</p>	

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																																																														
委託	調地標歩-15 (393)	<p>703-106-01 挿入式孔内傾斜計設置</p> <p style="text-align: center;">施工単価コード WS203110 (1孔当り)</p> <table border="1" data-bbox="454 344 1099 608"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>地質調査技師</td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>〃</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>ライトバン運転費</td> <td>日</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料費</td> <td>アルミケーシング</td> <td>本</td> <td>注1</td> <td>φ47mm×3mもの立上がり1mを含む</td> </tr> <tr> <td>アルミカップリング</td> <td>ヶ</td> <td>注2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーシングキャップ類</td> <td>組</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>雑品を除く材料費の7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. アルミケーシング数量の算出は、次式による。 M (本数) = D (深度m) ÷ 3 + 1 (端数切り捨て) 2. アルミカップリング数量の算出は、次式による。 N (個数) = M (アルミケーシング本数) - 1 3. 本表は、1方向または2方向で0.5~1.0m間隔、深度50m以内の場合に適用し、これ以外の場合には、別途計上する。 4. 撤去を行う場合は別途計上する。 5. 交通費は別途計上すること。</p>	種別	細別	単位	数量	摘要	人件費	地質調査技師	人	0.4		主任地質調査員	〃	0.4		地質調査員	〃	1.2		交通費	ライトバン運転費	日	0.4		材料費	アルミケーシング	本	注1	φ47mm×3mもの立上がり1mを含む	アルミカップリング	ヶ	注2		ケーシングキャップ類	組	1.0		雑品	式	1	雑品を除く材料費の7%	<p>703-106-01 挿入式孔内傾斜計設置</p> <p style="text-align: center;">施工単価コード WS203110 (1孔当り)</p> <table border="1" data-bbox="1294 349 1917 604"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>細別</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>地質調査技師</td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td>〃</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td>アルミケーシング</td> <td>本</td> <td>注1</td> <td>φ47mm×3mもの立上がり1mを含む</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アルミカップリング</td> <td>ヶ</td> <td>注2</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ケーシングキャップ類</td> <td>組</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑品</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>雑品を除く材料費の7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. アルミケーシング数量の算出は、次式による。 M (本数) = D (深度m) ÷ 3 + 1 (端数切り捨て) 2. アルミカップリング数量の算出は、次式による。 N (個数) = M (アルミケーシング本数) - 1 3. 本表は、1方向または2方向で0.5~1.0m間隔、深度50m以内の場合に適用し、これ以外の場合には、別途計上する。 4. 撤去を行う場合は別途計上する。 5. 交通費は別途計上すること。</p>	種別	細別	単位	数量	摘要	人件費	地質調査技師	人	0.4		主任地質調査員	〃	0.4		地質調査員	〃	1.2		材料費	アルミケーシング	本	注1	φ47mm×3mもの立上がり1mを含む		アルミカップリング	ヶ	注2			ケーシングキャップ類	組	1.0			雑品	式	1	雑品を除く材料費の7%	
種別	細別	単位	数量	摘要																																																																														
人件費	地質調査技師	人	0.4																																																																															
	主任地質調査員	〃	0.4																																																																															
	地質調査員	〃	1.2																																																																															
交通費	ライトバン運転費	日	0.4																																																																															
材料費	アルミケーシング	本	注1	φ47mm×3mもの立上がり1mを含む																																																																														
	アルミカップリング	ヶ	注2																																																																															
	ケーシングキャップ類	組	1.0																																																																															
	雑品	式	1	雑品を除く材料費の7%																																																																														
種別	細別	単位	数量	摘要																																																																														
人件費	地質調査技師	人	0.4																																																																															
	主任地質調査員	〃	0.4																																																																															
	地質調査員	〃	1.2																																																																															
材料費	アルミケーシング	本	注1	φ47mm×3mもの立上がり1mを含む																																																																														
	アルミカップリング	ヶ	注2																																																																															
	ケーシングキャップ類	組	1.0																																																																															
	雑品	式	1	雑品を除く材料費の7%																																																																														

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																																																																																																																																																																																						
委託	調地標歩-35 (413)	<p>12-4 段階揚水（7段階×3時間）試験</p> <p style="text-align: center;">施工単価コード D×B51500 (1ヶ所当り)</p> <table border="1" data-bbox="423 355 1182 815"> <thead> <tr> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">規 格 等</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">鋼 管 口 径 区 分</th> </tr> <tr> <th>φ100m/m</th> <th>φ150m/m</th> <th>φ200m/m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地質調査技師</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td></td> <td>人</td> <td>7.90</td> <td>7.90</td> <td><u>4.90</u></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>66.00</td> <td>168.00</td> <td>360.00</td> </tr> <tr> <td>サイトの運転費</td> <td></td> <td>日</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>10kVA</td> <td>日</td> <td>4.00</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>35kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td>4.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>75kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>100kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>150kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水中モーターポンプ</td> <td>65m/m 2.2kw</td> <td>日</td> <td>4.00</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>80m/m 7.5〃</td> <td>日</td> <td></td> <td>4.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>100m/m 11〃</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>125m/m 15〃</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>150m/m 37〃</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	規 格	規 格 等	単 位	鋼 管 口 径 区 分			φ100m/m	φ150m/m	φ200m/m	地質調査技師		人	4.00	4.00	4.00	主任地質調査員		人	4.00	4.00	4.00	地質調査員		人	7.90	7.90	<u>4.90</u>	軽 油		ℓ	66.00	168.00	360.00	サイトの運転費		日	4.00	4.00	4.00	発動発電機	10kVA	日	4.00			発動発電機	35kVA	日		4.00		発動発電機	75kVA	日			4.00	発動発電機	100kVA	日				発動発電機	150kVA	日				水中モーターポンプ	65m/m 2.2kw	日	4.00			〃	80m/m 7.5〃	日		4.00		〃	100m/m 11〃	日			4.00	〃	125m/m 15〃	日				〃	150m/m 37〃	日				<p>12-4 段階揚水（7段階×3時間）試験</p> <p style="text-align: center;">施工単価コード D×B51500 (1ヶ所当り)</p> <table border="1" data-bbox="1245 355 2004 815"> <thead> <tr> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">規 格 等</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">鋼 管 口 径 区 分</th> </tr> <tr> <th>φ100m/m</th> <th>φ150m/m</th> <th>φ200m/m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地質調査技師</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>主任地質調査員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>地質調査員</td> <td></td> <td>人</td> <td>7.90</td> <td>7.90</td> <td><u>7.90</u></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>66.00</td> <td>168.00</td> <td>360.00</td> </tr> <tr> <td>サイトの運転費</td> <td></td> <td>日</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>10kVA</td> <td>日</td> <td>4.00</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>35kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td>4.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>75kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>100kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>150kVA</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水中モーターポンプ</td> <td>65m/m 2.2kw</td> <td>日</td> <td>4.00</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>80m/m 7.5〃</td> <td>日</td> <td></td> <td>4.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>100m/m 11〃</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>125m/m 15〃</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>150m/m 37〃</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	規 格	規 格 等	単 位	鋼 管 口 径 区 分			φ100m/m	φ150m/m	φ200m/m	地質調査技師		人	4.00	4.00	4.00	主任地質調査員		人	4.00	4.00	4.00	地質調査員		人	7.90	7.90	<u>7.90</u>	軽 油		ℓ	66.00	168.00	360.00	サイトの運転費		日	4.00	4.00	4.00	発動発電機	10kVA	日	4.00			発動発電機	35kVA	日		4.00		発動発電機	75kVA	日			4.00	発動発電機	100kVA	日				発動発電機	150kVA	日				水中モーターポンプ	65m/m 2.2kw	日	4.00			〃	80m/m 7.5〃	日		4.00		〃	100m/m 11〃	日			4.00	〃	125m/m 15〃	日				〃	150m/m 37〃	日				
規 格	規 格 等	単 位				鋼 管 口 径 区 分																																																																																																																																																																																																				
			φ100m/m	φ150m/m	φ200m/m																																																																																																																																																																																																					
地質調査技師		人	4.00	4.00	4.00																																																																																																																																																																																																					
主任地質調査員		人	4.00	4.00	4.00																																																																																																																																																																																																					
地質調査員		人	7.90	7.90	<u>4.90</u>																																																																																																																																																																																																					
軽 油		ℓ	66.00	168.00	360.00																																																																																																																																																																																																					
サイトの運転費		日	4.00	4.00	4.00																																																																																																																																																																																																					
発動発電機	10kVA	日	4.00																																																																																																																																																																																																							
発動発電機	35kVA	日		4.00																																																																																																																																																																																																						
発動発電機	75kVA	日			4.00																																																																																																																																																																																																					
発動発電機	100kVA	日																																																																																																																																																																																																								
発動発電機	150kVA	日																																																																																																																																																																																																								
水中モーターポンプ	65m/m 2.2kw	日	4.00																																																																																																																																																																																																							
〃	80m/m 7.5〃	日		4.00																																																																																																																																																																																																						
〃	100m/m 11〃	日			4.00																																																																																																																																																																																																					
〃	125m/m 15〃	日																																																																																																																																																																																																								
〃	150m/m 37〃	日																																																																																																																																																																																																								
規 格	規 格 等	単 位	鋼 管 口 径 区 分																																																																																																																																																																																																							
			φ100m/m	φ150m/m	φ200m/m																																																																																																																																																																																																					
地質調査技師		人	4.00	4.00	4.00																																																																																																																																																																																																					
主任地質調査員		人	4.00	4.00	4.00																																																																																																																																																																																																					
地質調査員		人	7.90	7.90	<u>7.90</u>																																																																																																																																																																																																					
軽 油		ℓ	66.00	168.00	360.00																																																																																																																																																																																																					
サイトの運転費		日	4.00	4.00	4.00																																																																																																																																																																																																					
発動発電機	10kVA	日	4.00																																																																																																																																																																																																							
発動発電機	35kVA	日		4.00																																																																																																																																																																																																						
発動発電機	75kVA	日			4.00																																																																																																																																																																																																					
発動発電機	100kVA	日																																																																																																																																																																																																								
発動発電機	150kVA	日																																																																																																																																																																																																								
水中モーターポンプ	65m/m 2.2kw	日	4.00																																																																																																																																																																																																							
〃	80m/m 7.5〃	日		4.00																																																																																																																																																																																																						
〃	100m/m 11〃	日			4.00																																																																																																																																																																																																					
〃	125m/m 15〃	日																																																																																																																																																																																																								
〃	150m/m 37〃	日																																																																																																																																																																																																								

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考
委託	(451)	<p style="text-align: center;">〔2〕道 路 設 計</p> <p style="text-align: center;">目 次</p> <p>1. 道路設計設道路 1</p> <p> 1-1 設計協議 1</p> <p> 1-2 道路概略設計 1</p> <p> 1-3 道路予備設計 5</p> <p> 1-4 道路詳細設計 14</p> <p> 1-5 各歩掛補正の算出例 25</p> <p> 1-6 道路設計における本線設計とそれに付属する設計の歩掛上の区分 28</p> <p> 1-7 用地幅杭計画 28</p> <p>2. 平面交差点設計 27</p> <p> 2-1 平面交差点予備設計 27</p> <p> 2-2 平面交差点詳細設計 30</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	<p style="text-align: center;">〔2〕道 路 設 計</p> <p style="text-align: center;">目 次</p> <p>1. 道路設計設道路 1</p> <p> 1-1 設計協議 1</p> <p> 1-2 道路概略設計 1</p> <p> 1-3 道路予備設計 5</p> <p> 1-4 道路詳細設計 14</p> <p> 1-5 各歩掛補正の算出例 25</p> <p> 1-6 道路設計における本線設計とそれに付属する設計の歩掛上の区分 28</p> <p> 1-7 用地幅杭計画 28</p> <p>2. 平面交差点設計 27</p> <p> 2-1 平面交差点予備設計 27</p> <p> 2-2 平面交差点詳細設計 30</p> <p>3. 雪況調査対策工検討設計 34</p> <p> 3-1 吹雪調査対策工検討設計 34</p> <p> 3-2 雪崩調査対策工検討設計 39</p>	

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考															
委託	追加		<p><u>3. 雪況調査対策工検討設計</u></p> <p><u>3-1. 吹雪調査対策工検討設計</u></p> <p><u>3-1-1. 適用範囲</u> 本表掛は、道路事業に係わる吹雪調査を委託業務により実施する場合に適用する。</p> <p><u>3-1-2. 業務等の費用</u> <u>(1) 業務等の費用および積算</u> 1) 業務等の内、「定点観測」、「雪況調査」および「移動観測調査」等現地調査に係る費用および積算等は「測量業務等委託積算基準」による。 2) 業務等の内、「資料収集整理」、「吹雪危険度評価」および「防雪対策工の選定」等検討業務に係る費用および積算は「設計業務等委託積算基準」による。</p> <p><u>3-1-3. 作業区分</u> 吹雪調査の業務内容は以下のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1272 683 2004 1316"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>区分</th> <th>業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画準備</td> <td>設計</td> <td>業務の目的・主旨の把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、以下の項目の内容を記載した業務計画書を作成する。 ①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥品質を確保するための計画、⑦成果品の内容、部数、⑧使用する主な図書および基準、⑨連絡体制（緊急時含む）、⑩使用する主な機器、⑪照査計画、⑫その他</td> </tr> <tr> <td>現地踏査</td> <td>設計</td> <td>設計図書に示す当該調査地域における地形、地質、地物、植生および土地利用状況等周辺環境の把握・確認を行う。また、定点気象観測機器の設置位置の選定も含めて行う。</td> </tr> <tr> <td>資料収集整理</td> <td>設計</td> <td>設計図書に示す当該調査地域における吹雪発生の危険性および対策工設計に関する資料を収集整理する。 ・道路管理図面等（路線管理図、道路台帳図、道路管理資料など）、 ・過年度報告書（当該箇所および周辺路線の気象特性、設計値等の確認）、 ・近隣の気象観測データ（周辺アメダス、テレメータ：収集期間過去5箇年）</td> </tr> <tr> <td>定点観測 (機器設置撤去・調査)</td> <td>測量</td> <td>現地踏査で選定された箇所に、以下の内容で気象観測を実施する。 ・気象観測機器設置・撤去（1箇所）、 ・機器データ回収および保守点検は月1回程度とする。 観測項目は風向・風速、気温、積雪深および積程等があり、設計図書で明記する。</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	区分	業 務 内 容	計画準備	設計	業務の目的・主旨の把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、以下の項目の内容を記載した業務計画書を作成する。 ①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥品質を確保するための計画、⑦成果品の内容、部数、⑧使用する主な図書および基準、⑨連絡体制（緊急時含む）、⑩使用する主な機器、⑪照査計画、⑫その他	現地踏査	設計	設計図書に示す当該調査地域における地形、地質、地物、植生および土地利用状況等周辺環境の把握・確認を行う。また、定点気象観測機器の設置位置の選定も含めて行う。	資料収集整理	設計	設計図書に示す当該調査地域における吹雪発生の危険性および対策工設計に関する資料を収集整理する。 ・道路管理図面等（路線管理図、道路台帳図、道路管理資料など）、 ・過年度報告書（当該箇所および周辺路線の気象特性、設計値等の確認）、 ・近隣の気象観測データ（周辺アメダス、テレメータ：収集期間過去5箇年）	定点観測 (機器設置撤去・調査)	測量	現地踏査で選定された箇所に、以下の内容で気象観測を実施する。 ・気象観測機器設置・撤去（1箇所）、 ・機器データ回収および保守点検は月1回程度とする。 観測項目は風向・風速、気温、積雪深および積程等があり、設計図書で明記する。	
名 称	区分	業 務 内 容																	
計画準備	設計	業務の目的・主旨の把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、以下の項目の内容を記載した業務計画書を作成する。 ①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥品質を確保するための計画、⑦成果品の内容、部数、⑧使用する主な図書および基準、⑨連絡体制（緊急時含む）、⑩使用する主な機器、⑪照査計画、⑫その他																	
現地踏査	設計	設計図書に示す当該調査地域における地形、地質、地物、植生および土地利用状況等周辺環境の把握・確認を行う。また、定点気象観測機器の設置位置の選定も含めて行う。																	
資料収集整理	設計	設計図書に示す当該調査地域における吹雪発生の危険性および対策工設計に関する資料を収集整理する。 ・道路管理図面等（路線管理図、道路台帳図、道路管理資料など）、 ・過年度報告書（当該箇所および周辺路線の気象特性、設計値等の確認）、 ・近隣の気象観測データ（周辺アメダス、テレメータ：収集期間過去5箇年）																	
定点観測 (機器設置撤去・調査)	測量	現地踏査で選定された箇所に、以下の内容で気象観測を実施する。 ・気象観測機器設置・撤去（1箇所）、 ・機器データ回収および保守点検は月1回程度とする。 観測項目は風向・風速、気温、積雪深および積程等があり、設計図書で明記する。																	

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																				
委託	追加		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1249 272 1391 312">名称</th> <th data-bbox="1391 272 1464 312">区分</th> <th data-bbox="1464 272 2002 312">業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1249 312 1391 488">雪況調査</td> <td data-bbox="1391 312 1464 488">測量</td> <td data-bbox="1464 312 2002 488">吹雪発生が予想される日に、以下の項目を調査する。 ・1日の調査範囲：対象路線の調査：積雪横断観測（4断面/日） ・調査項目：吹雪発生状況の写真撮影 吹雪発生状況のハンデビデオ撮影（必要箇所） 路面への吹きだまり状況 対策工の効果確認、積雪横断観測</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 488 1391 584">移動観測調査 ＜参考1＞</td> <td data-bbox="1391 488 1464 584">測量</td> <td data-bbox="1464 488 2002 584">路線上で吹雪発生箇所が特定されていない場合において、移動観測車を使用し、指定された路線について移動しながら気象観測を行う。（風向：風速、気温、視程を計測し、車内でビデオ撮影を実施する。）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 584 1391 663">調査結果整理</td> <td data-bbox="1391 584 1464 663">測量</td> <td data-bbox="1464 584 2002 663">定点観測、雪況調査および移動観測調査結果を、吹雪特性を解析する基礎資料として図化等により整理する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 663 1391 743">現地気象特性の解析</td> <td data-bbox="1391 663 1464 743">設計</td> <td data-bbox="1464 663 2002 743">定点観測結果および近隣の気象観測データ等を用いて、吹雪・吹きだまり量等の解析を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 743 1391 823">雪況調査結果の解析</td> <td data-bbox="1391 743 1464 823">設計</td> <td data-bbox="1464 743 2002 823">雪況調査・移動観測調査結果より、対象箇所の冬期気象特性、障害発生状況等をとりまとめる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 823 1391 951">吹雪危険度評価</td> <td data-bbox="1391 823 1464 951">設計</td> <td data-bbox="1464 823 2002 951">防災点検のランク外等の箇所は、解析結果を基に調査対象区間を周辺状況・道路構造等で区間割りし、各々について吹雪危険度を評価する。評価結果をもとに、吹雪対策施設の必要性やその優先順位について検討する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 951 1391 1031">対策対策の選定</td> <td data-bbox="1391 951 1464 1031">設計</td> <td data-bbox="1464 951 2002 1031">対策工法を検討する場合は、吹雪危険度評価結果を考慮し、吹雪対策施設が必要と判断された区間について、適切な対策工法を選定する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 1031 1391 1126">2次元数値シミュレーション ＜参考2＞</td> <td data-bbox="1391 1031 1464 1126">設計</td> <td data-bbox="1464 1031 2002 1126">選定された対策工の防雪効果を検証するために実施する。実施条件は、＜参考2＞説明による。検討断面：1断面 計算ケース：2ケース（対策工なし・あり等）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 1126 1391 1222">3次元数値シミュレーション ＜参考3＞</td> <td data-bbox="1391 1126 1464 1222">設計</td> <td data-bbox="1464 1126 2002 1222">選定された対策工を含む吹きだまり状況・特定場所の風向き等、立体的防雪効果を検証するために実施する。実施条件は、＜参考3＞説明による。検討箇所：1箇所 計算ケース：2ケース（対策工なし・あり等）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 1222 1391 1334">対策施設の比較検討</td> <td data-bbox="1391 1222 1464 1334">設計</td> <td data-bbox="1464 1222 2002 1334">対策工の選定を実施した場合は、必要に応じて数値シミュレーション結果等を踏まえ、対策工の経済比較を実施し、選定された危険箇所に対して最適な対策工を提案する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 1334 1391 1382">報告書作成</td> <td data-bbox="1391 1334 1464 1382">設計</td> <td data-bbox="1464 1334 2002 1382">本業務の成果として上記を取りまとめ、業務報告書を作成する。</td> </tr> </tbody> </table>	名称	区分	業務内容	雪況調査	測量	吹雪発生が予想される日に、以下の項目を調査する。 ・1日の調査範囲：対象路線の調査：積雪横断観測（4断面/日） ・調査項目：吹雪発生状況の写真撮影 吹雪発生状況のハンデビデオ撮影（必要箇所） 路面への吹きだまり状況 対策工の効果確認、積雪横断観測	移動観測調査 ＜参考1＞	測量	路線上で吹雪発生箇所が特定されていない場合において、移動観測車を使用し、指定された路線について移動しながら気象観測を行う。（風向：風速、気温、視程を計測し、車内でビデオ撮影を実施する。）	調査結果整理	測量	定点観測、雪況調査および移動観測調査結果を、吹雪特性を解析する基礎資料として図化等により整理する。	現地気象特性の解析	設計	定点観測結果および近隣の気象観測データ等を用いて、吹雪・吹きだまり量等の解析を行う。	雪況調査結果の解析	設計	雪況調査・移動観測調査結果より、対象箇所の冬期気象特性、障害発生状況等をとりまとめる。	吹雪危険度評価	設計	防災点検のランク外等の箇所は、解析結果を基に調査対象区間を周辺状況・道路構造等で区間割りし、各々について吹雪危険度を評価する。評価結果をもとに、吹雪対策施設の必要性やその優先順位について検討する。	対策対策の選定	設計	対策工法を検討する場合は、吹雪危険度評価結果を考慮し、吹雪対策施設が必要と判断された区間について、適切な対策工法を選定する。	2次元数値シミュレーション ＜参考2＞	設計	選定された対策工の防雪効果を検証するために実施する。実施条件は、＜参考2＞説明による。検討断面：1断面 計算ケース：2ケース（対策工なし・あり等）	3次元数値シミュレーション ＜参考3＞	設計	選定された対策工を含む吹きだまり状況・特定場所の風向き等、立体的防雪効果を検証するために実施する。実施条件は、＜参考3＞説明による。検討箇所：1箇所 計算ケース：2ケース（対策工なし・あり等）	対策施設の比較検討	設計	対策工の選定を実施した場合は、必要に応じて数値シミュレーション結果等を踏まえ、対策工の経済比較を実施し、選定された危険箇所に対して最適な対策工を提案する。	報告書作成	設計	本業務の成果として上記を取りまとめ、業務報告書を作成する。	
名称	区分	業務内容																																						
雪況調査	測量	吹雪発生が予想される日に、以下の項目を調査する。 ・1日の調査範囲：対象路線の調査：積雪横断観測（4断面/日） ・調査項目：吹雪発生状況の写真撮影 吹雪発生状況のハンデビデオ撮影（必要箇所） 路面への吹きだまり状況 対策工の効果確認、積雪横断観測																																						
移動観測調査 ＜参考1＞	測量	路線上で吹雪発生箇所が特定されていない場合において、移動観測車を使用し、指定された路線について移動しながら気象観測を行う。（風向：風速、気温、視程を計測し、車内でビデオ撮影を実施する。）																																						
調査結果整理	測量	定点観測、雪況調査および移動観測調査結果を、吹雪特性を解析する基礎資料として図化等により整理する。																																						
現地気象特性の解析	設計	定点観測結果および近隣の気象観測データ等を用いて、吹雪・吹きだまり量等の解析を行う。																																						
雪況調査結果の解析	設計	雪況調査・移動観測調査結果より、対象箇所の冬期気象特性、障害発生状況等をとりまとめる。																																						
吹雪危険度評価	設計	防災点検のランク外等の箇所は、解析結果を基に調査対象区間を周辺状況・道路構造等で区間割りし、各々について吹雪危険度を評価する。評価結果をもとに、吹雪対策施設の必要性やその優先順位について検討する。																																						
対策対策の選定	設計	対策工法を検討する場合は、吹雪危険度評価結果を考慮し、吹雪対策施設が必要と判断された区間について、適切な対策工法を選定する。																																						
2次元数値シミュレーション ＜参考2＞	設計	選定された対策工の防雪効果を検証するために実施する。実施条件は、＜参考2＞説明による。検討断面：1断面 計算ケース：2ケース（対策工なし・あり等）																																						
3次元数値シミュレーション ＜参考3＞	設計	選定された対策工を含む吹きだまり状況・特定場所の風向き等、立体的防雪効果を検証するために実施する。実施条件は、＜参考3＞説明による。検討箇所：1箇所 計算ケース：2ケース（対策工なし・あり等）																																						
対策施設の比較検討	設計	対策工の選定を実施した場合は、必要に応じて数値シミュレーション結果等を踏まえ、対策工の経済比較を実施し、選定された危険箇所に対して最適な対策工を提案する。																																						
報告書作成	設計	本業務の成果として上記を取りまとめ、業務報告書を作成する。																																						

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																																																																																																																																					
委託	追加		<p>3-1-4 標準歩掛</p> <p>(1) 測量業務</p> <table border="1" data-bbox="1249 325 2011 555"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="5">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>測量技師</th> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定点観測機器設置撤去</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td></td> <td>1.6</td> <td>0.6</td> <td>2.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定点観測調査 (測器データ回収・保守点検)</td> <td></td> <td>1</td> <td>回</td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雪況調査</td> <td></td> <td>1</td> <td>回</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査結果整理</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td>2.6</td> <td>7.6</td> <td>16.8</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 定点観測機器設置撤去(1箇所)は風向・風速計、気温計、積雪深計の3種類、6m支柱を標準とする。定点観測機器は、業務範囲で周辺地形等により気象の差異が明確であると認められる場合に2箇所以上設置する。</p> <p>2. 定点観測機器設置撤去、定点観測調査は、測器1箇所/1業務を標準とする。 (視程や視認性を計測するための視程計・タイムラプスビデオは単独設置とする。また、別途電源工事が必要となり、工事費は別途見積とする。)</p> <p>3. 雪況調査は対象路線の概査と路線上を含めた積雪横断観測(1測線)を標準とする。積雪横断観測は、調査箇所で周辺地形や道路構造等を考慮のうえ、吹雪障害を代表する地点とする。</p> <p>4. 調査結果整理は定点観測データ整理および雪況調査3回分程度を整理する場合を標準としている。</p> <p>5. 標準以外は3-1-5歩掛の補正による。</p> <p>(2) 設計業務</p> <table border="1" data-bbox="1249 967 2011 1311"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="5">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画準備</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td>0.6</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現地踏査</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資料収集・整理</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td>0.2</td> <td>1.3</td> <td>2.3</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>現地気象特性の解析</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td>0.1</td> <td>0.9</td> <td>1.5</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>雪況調査結果の解析</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td>0.1</td> <td>1.0</td> <td>1.9</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>吹雪危険度評価</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.7</td> <td>2.6</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>防雪対策工の選定</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td>0.7</td> <td>1.4</td> <td>2.4</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>対策施設の比較検討</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td>0.5</td> <td>1.1</td> <td>1.8</td> <td>2.7</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td>1.0</td> <td>1.7</td> <td>2.9</td> <td>3.7</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 1業務は、観測機器1測器、調査1箇所(測線)を標準とする。</p> <p>2. 標準以外は3-1-5歩掛の補正による。</p>	区分	職 種	数量	単位	直接人件費					測量技師	測量技師	測量技師補	測量助手	普通作業員	定点観測機器設置撤去		1	義務			1.6	0.6	2.8		定点観測調査 (測器データ回収・保守点検)		1	回		0.4	0.4	0.2	0.2		雪況調査		1	回		0.5	0.8	0.8			調査結果整理		1	義務		2.6	7.6	16.8			区分	職 種	数量	単位	直接人件費					主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	計画準備		1	義務	0.6	1.2	1.3			現地踏査		1	義務		1.1	1.3			資料収集・整理		1	義務		0.2	1.3	2.3	2.4	現地気象特性の解析		1	義務		0.1	0.9	1.5	2.1	雪況調査結果の解析		1	義務		0.1	1.0	1.9	2.7	吹雪危険度評価		1	義務		1.0	1.7	2.6	0.8	防雪対策工の選定		1	義務		0.7	1.4	2.4	0.6	対策施設の比較検討		1	義務	0.5	1.1	1.8	2.7	1.0	報告書作成		1	義務	1.0	1.7	2.9	3.7	0.4	
区分	職 種	数量	単位					直接人件費																																																																																																																																																	
				測量技師	測量技師	測量技師補	測量助手	普通作業員																																																																																																																																																	
定点観測機器設置撤去		1	義務			1.6	0.6	2.8																																																																																																																																																	
定点観測調査 (測器データ回収・保守点検)		1	回		0.4	0.4	0.2	0.2																																																																																																																																																	
雪況調査		1	回		0.5	0.8	0.8																																																																																																																																																		
調査結果整理		1	義務		2.6	7.6	16.8																																																																																																																																																		
区分	職 種	数量	単位	直接人件費																																																																																																																																																					
				主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																																	
計画準備		1	義務	0.6	1.2	1.3																																																																																																																																																			
現地踏査		1	義務		1.1	1.3																																																																																																																																																			
資料収集・整理		1	義務		0.2	1.3	2.3	2.4																																																																																																																																																	
現地気象特性の解析		1	義務		0.1	0.9	1.5	2.1																																																																																																																																																	
雪況調査結果の解析		1	義務		0.1	1.0	1.9	2.7																																																																																																																																																	
吹雪危険度評価		1	義務		1.0	1.7	2.6	0.8																																																																																																																																																	
防雪対策工の選定		1	義務		0.7	1.4	2.4	0.6																																																																																																																																																	
対策施設の比較検討		1	義務	0.5	1.1	1.8	2.7	1.0																																																																																																																																																	
報告書作成		1	義務	1.0	1.7	2.9	3.7	0.4																																																																																																																																																	

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																
委託	追加		<p><u>3-1-5 歩掛の補正</u></p> <p><u>(1) 測量業務</u></p> <p>1) <u>定点観測機器設置・撤去と定点観測調査の箇所数の補正は、次式により行う。</u> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 1) \times 0.2\}$ 但し $n_1 \geq 2$ n_1: 測器セット数</p> <p>2) <u>雪況調査の箇所数の補正は、次式により行う。</u> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 1) \times 0.2\}$ 但し $n_1 \geq 2$ n_1: 調査箇所(測線)数</p> <p>3) <u>調査結果整理の箇所数の補正は、次式により行う。</u> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 + n_2 - 2) \times 0.2\}$ 但し $n_1 + n_2 \geq 3$ n_1: 測器セット数、n_2: 調査箇所(測線)数</p> <p><u>(2) 設計業務</u></p> <p>1) <u>現地気象特性の解析の箇所数の補正は、次式により行う。</u> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 1) \times 0.7/3\}$ 但し $n_1 \geq 2$</p> <p>2) <u>雪況調査結果の解析の箇所数の補正は、次式により行う。</u> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 1) \times 0.7/4\}$ 但し $n_1 \geq 2$</p> <p>3) <u>吹雪危険度の箇所数の補正は、次式により行う。</u> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 1) \times 0.7/3\}$ 但し $n_1 \geq 2$</p> <p>4) <u>防雪対策工の選定箇所数の補正は、次式により行う。</u> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 1) \times 0.7/3\}$ 但し $n_1 \geq 2$</p> <p>5) <u>対策施設の比較検討の箇所数の補正は、次式により行う。</u> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 1) \times 0.7/2\}$ 但し $n_1 \geq 2$ n_1: 測器セット数、n_2: 調査箇所数</p> <p><u>(3) 参考</u></p> <p><u><参考1: 移動観測調査></u> <u>対象路線全体から吹雪危険箇所を抽出する必要がある場合に、移動観測調査を行う。</u></p> <table border="1" data-bbox="1254 1077 1998 1220"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職種</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="5">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>普通作業員</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移動観測調査(移動観測車)</td> <td></td> <td>1</td> <td>回</td> <td>0.8</td> <td>1.6</td> <td>1.6</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>移動観測調査結果整理</td> <td></td> <td>1</td> <td>回</td> <td>0.1</td> <td>0.9</td> <td>1.6</td> <td>3.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>注) 1. 移動観測調査は、5km・5往復を標準とする。</u></p> <p><u>2. 移動観測調査および結果整理は、増加単位を5kmとして距離補正を行う。</u> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 5) / 5 \times 0.3\}$ 但し $n_1 = 10, 15, 20$ n_1: 移動観測距離(km)</p> <p><u>なお、移動観測車による1日の移動距離は、観測区間と回送区間を合わせて40km/1往復(20km/5往復・日)とする。</u></p>	区分	職種	数量	単位	直接人件費					測量技師	測量技師補	測量助手	普通作業員		移動観測調査(移動観測車)		1	回	0.8	1.6	1.6	0.8		移動観測調査結果整理		1	回	0.1	0.9	1.6	3.4		
区分	職種	数量	単位					直接人件費																												
				測量技師	測量技師補	測量助手	普通作業員																													
移動観測調査(移動観測車)		1	回	0.8	1.6	1.6	0.8																													
移動観測調査結果整理		1	回	0.1	0.9	1.6	3.4																													

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																														
委託	追加		<p><参考2：2次元数値シミュレーション></p> <p>以下の条件が全て当てはまる場合、選定された対策工の防雪効果を検証するために2次元数値シミュレーションを実施し、対策工の妥当性を評価する。</p> <p>① 対策工の選定で吹き止め柵・吹き払い柵・吹きだめ柵の中から2工種以上が選定された場合 ② 吹き止め柵の柵高、設置位置の検討が必要な場合 ③ 次年原設計を実施する予定のある場合</p> <table border="1" data-bbox="1249 448 2002 564"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="5">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2次元数値シミュレーション</td> <td></td> <td>1</td> <td>断面</td> <td>0.1</td> <td>1.9</td> <td>3.1</td> <td>3.3</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 2次元数値シミュレーション実施の際は、電子計算機使用料を直接人件費の9%を直接経費として計上する。 2. 2次元数値シミュレーションの検討断面数の補正は、次式により行う。 $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times n_1 \quad \text{但し } n_1 \geq 1$ $n_1: \text{検討断面数}$</p> <p><参考3：3次元数値シミュレーション></p> <p>以下に示すいずれかの条件が全て当てはまる場合、選定された対策工を含む吹きだまり状況・特定場所の風向等、立体的防雪効果を検証するために3次元数値シミュレーションを実施し、対策工の妥当性を評価する。</p> <p>① 対策工の施工範囲が周辺地形や他施設（道路構造物や家屋等）の影響により、立体的防雪効果をもとに設定する必要がある場合。 ② 対策工を施工することによって、他施設（道路構造物や家屋等）への影響が懸念される場合。</p> <table border="1" data-bbox="1249 970 2002 1086"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="5">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元数値シミュレーション</td> <td></td> <td>1</td> <td>断面</td> <td></td> <td>2.5</td> <td>6.2</td> <td>13.1</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 3次元数値シミュレーション実施の際は、電子計算機使用料を直接人件費の9%を直接経費として計上する。 2. 3次元数値シミュレーションの検討箇所数の補正は、次式により行う。 $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times n_1 \quad \text{但し } n_1 \geq 1$ $n_1: \text{検討箇所数}$</p>	区分	職 種	数量	単 位	直 接 人 件 費					主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	2次元数値シミュレーション		1	断面	0.1	1.9	3.1	3.3	2.5	区分	職 種	数量	単 位	直 接 人 件 費					主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	3次元数値シミュレーション		1	断面		2.5	6.2	13.1	9.0	
区分	職 種	数量	単 位					直 接 人 件 費																																										
				主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																										
2次元数値シミュレーション		1	断面	0.1	1.9	3.1	3.3	2.5																																										
区分	職 種	数量	単 位	直 接 人 件 費																																														
				主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																										
3次元数値シミュレーション		1	断面		2.5	6.2	13.1	9.0																																										

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考															
委託	追加		<p><u>3-2. 雪前調査対策工検討設計</u></p> <p><u>3-2-1. 適用範囲</u> 本歩掛は、道路事業に係わる雪前調査を委託業務により実施する場合に適用する。</p> <p><u>3-2-2. 業務等の費用</u> <u>(1) 業務等の費用および積算</u> 1) 業務等の内、「定点観測」および「雪況調査」等現地調査に係わる費用および積算は「測量業務等委託積算基準」による。 2) 業務等の内、「資料収集整理」、「雪前危険斜面の抽出・危険度評価」および「対策工法の概略検討」等検討業務に係わる費用および積算は「設計業務等委託積算基準」による。</p> <p><u>3-2-3. 作業区分</u> 雪前調査の業務内容は以下のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1256 627 2000 1337"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>区分</th> <th>業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画準備</td> <td>設計</td> <td>業務の目的・主旨の把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、以下の項目の内容を記載した業務計画書を作成する。 ①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥品質を確保するための計画、⑦成果品の内容、取数、⑧使用する主な図書および基準、⑨連絡体制(緊急時含む)、⑩使用する主な機器、⑪照査計画、⑫その他</td> </tr> <tr> <td>現地踏査</td> <td>設計</td> <td>設計図書に示す当該調査地域における地形、地質、地物、植生および土地利用状況等周辺環境の把握・確認を行う。また、定点気象観測機器の設置位置の選定も合わせて行う。</td> </tr> <tr> <td>資料収集整理</td> <td>設計</td> <td>設計図書に示す当該地域における雪前発生危険性および対策工設計に関する資料を収集整理する。 ・道路管理図面等(路線管理図、道路台帳、地形図、道路管理資料など) ・過年度報告書(当該箇所および周辺斜面での雪前発生状況、設計積雪深、地質等の確認) ・北海道開発局30年確率最大積雪等深線図 ・設計積雪深算定に係る資料 (近隣のアメダスまたはアメダスの積雪深データ：収集期間は30年以上を基本とする。)</td> </tr> <tr> <td>定点観測 (機器設置撤去・ 調査・データ整理)</td> <td>測量</td> <td>近隣の気象観測データを準備できない場合に、現地踏査で選定された定点において、以下の内容で気象観測を実施する。 ・気象観測機器設置・撤去(1箇所) ・機器データ回収および保存点検は月1回程度とする。 観測項目：風向・風速、気温、積雪深があり、設計図書で明記する。</td> </tr> </tbody> </table>	名称	区分	業務内容	計画準備	設計	業務の目的・主旨の把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、以下の項目の内容を記載した業務計画書を作成する。 ①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥品質を確保するための計画、⑦成果品の内容、取数、⑧使用する主な図書および基準、⑨連絡体制(緊急時含む)、⑩使用する主な機器、⑪照査計画、⑫その他	現地踏査	設計	設計図書に示す当該調査地域における地形、地質、地物、植生および土地利用状況等周辺環境の把握・確認を行う。また、定点気象観測機器の設置位置の選定も合わせて行う。	資料収集整理	設計	設計図書に示す当該地域における雪前発生危険性および対策工設計に関する資料を収集整理する。 ・道路管理図面等(路線管理図、道路台帳、地形図、道路管理資料など) ・過年度報告書(当該箇所および周辺斜面での雪前発生状況、設計積雪深、地質等の確認) ・北海道開発局30年確率最大積雪等深線図 ・設計積雪深算定に係る資料 (近隣のアメダスまたはアメダスの積雪深データ：収集期間は30年以上を基本とする。)	定点観測 (機器設置撤去・ 調査・データ整理)	測量	近隣の気象観測データを準備できない場合に、現地踏査で選定された定点において、以下の内容で気象観測を実施する。 ・気象観測機器設置・撤去(1箇所) ・機器データ回収および保存点検は月1回程度とする。 観測項目：風向・風速、気温、積雪深があり、設計図書で明記する。	
名称	区分	業務内容																	
計画準備	設計	業務の目的・主旨の把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、以下の項目の内容を記載した業務計画書を作成する。 ①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥品質を確保するための計画、⑦成果品の内容、取数、⑧使用する主な図書および基準、⑨連絡体制(緊急時含む)、⑩使用する主な機器、⑪照査計画、⑫その他																	
現地踏査	設計	設計図書に示す当該調査地域における地形、地質、地物、植生および土地利用状況等周辺環境の把握・確認を行う。また、定点気象観測機器の設置位置の選定も合わせて行う。																	
資料収集整理	設計	設計図書に示す当該地域における雪前発生危険性および対策工設計に関する資料を収集整理する。 ・道路管理図面等(路線管理図、道路台帳、地形図、道路管理資料など) ・過年度報告書(当該箇所および周辺斜面での雪前発生状況、設計積雪深、地質等の確認) ・北海道開発局30年確率最大積雪等深線図 ・設計積雪深算定に係る資料 (近隣のアメダスまたはアメダスの積雪深データ：収集期間は30年以上を基本とする。)																	
定点観測 (機器設置撤去・ 調査・データ整理)	測量	近隣の気象観測データを準備できない場合に、現地踏査で選定された定点において、以下の内容で気象観測を実施する。 ・気象観測機器設置・撤去(1箇所) ・機器データ回収および保存点検は月1回程度とする。 観測項目：風向・風速、気温、積雪深があり、設計図書で明記する。																	

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																		
委託	追加		<table border="1" data-bbox="1254 279 2004 1045"> <thead> <tr> <th data-bbox="1261 284 1395 311">名称</th> <th data-bbox="1395 284 1467 311">区分</th> <th data-bbox="1467 284 1998 311">業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1261 319 1395 375">雪況調査・調査結果整理</td> <td data-bbox="1395 319 1467 375">測量</td> <td data-bbox="1467 319 1998 510">対象とする切土法面および自然斜面について、植生状況、地形状況、斜面積雪状況、雪崩発生状況を現地調査し、雪崩危険箇所を抽出する基礎資料として図化等により整理する。 ：1日の調査範囲：対象斜面（3斜面/日）の調査：積雪横断観測（3断面） ：調査項目：雪崩発生状況の写真撮影、路線上への雪害状況積雪横断観測、封築工の効果確認</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 518 1395 686">雪崩危険斜面の抽出：危険度評価</td> <td data-bbox="1395 518 1467 686">設計</td> <td data-bbox="1467 518 1998 686">資料収集整理および現地調査結果から、植生状況分布図、勾配状況分布図、見通し水分分布図、雪崩発生状況図を作成のうえ、雪崩発生危険箇所を抽出する。抽出した発生危険箇所、保全対象条件、および定点気象観測結果を得た当該箇所の冬期気象特性を助案のうえ、斜面に対する雪崩危険性の度合いを評価し、雪崩対策施設の必要性やその優先順位について検討する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 694 1395 837">雪崩運動解析</td> <td data-bbox="1395 694 1467 837">設計</td> <td data-bbox="1467 694 1998 837">雪崩発生範囲ならびに各斜面について雪崩発生厚を設定し、その流下状況や速度を把握するために、雪崩流下経路および速度再現シミュレーションを実施する。 実施条件は、「①斜面長50m以上」、「②斜面法肩と道路路肩の間が一次：二次堆雪幅以上」のいずれかを満たす場合とする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 845 1395 997">封築工法の概略検討</td> <td data-bbox="1395 845 1467 997">設計</td> <td data-bbox="1467 845 1998 997">雪崩対策施設が必要とされた箇所について、調査区域の勾配・地形・土質・雪崩の種類等を考慮のうえ、発生区・走路・堆積区の名区分で封築工法を複数案選定する（一次選定）。また、経済性・施工性・工法の有効性類について比較検討し、最適工法を選定する（二次選定）。選定した最適工法が、最も有効にその効果を発揮するよう概略の配置計画を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 1005 1395 1045">報告書作成</td> <td data-bbox="1395 1005 1467 1045">設計</td> <td data-bbox="1467 1005 1998 1045">本業務の成果として上記を取りまとめ、業務報告書を作成する。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1254 1069 2004 1125">注）雪崩対策施設において走路および防護封築工が助案される場合は、設計高さ、雪崩衝撃力、封築範囲を設定するために、必要に応じて「雪崩運動解析」を実施するものとする。</p>	名称	区分	業務内容	雪況調査・調査結果整理	測量	対象とする切土法面および自然斜面について、植生状況、地形状況、斜面積雪状況、雪崩発生状況を現地調査し、雪崩危険箇所を抽出する基礎資料として図化等により整理する。 ：1日の調査範囲：対象斜面（3斜面/日）の調査：積雪横断観測（3断面） ：調査項目：雪崩発生状況の写真撮影、路線上への雪害状況積雪横断観測、封築工の効果確認	雪崩危険斜面の抽出：危険度評価	設計	資料収集整理および現地調査結果から、植生状況分布図、勾配状況分布図、見通し水分分布図、雪崩発生状況図を作成のうえ、雪崩発生危険箇所を抽出する。抽出した発生危険箇所、保全対象条件、および定点気象観測結果を得た当該箇所の冬期気象特性を助案のうえ、斜面に対する雪崩危険性の度合いを評価し、雪崩対策施設の必要性やその優先順位について検討する。	雪崩運動解析	設計	雪崩発生範囲ならびに各斜面について雪崩発生厚を設定し、その流下状況や速度を把握するために、雪崩流下経路および速度再現シミュレーションを実施する。 実施条件は、「①斜面長50m以上」、「②斜面法肩と道路路肩の間が一次：二次堆雪幅以上」のいずれかを満たす場合とする。	封築工法の概略検討	設計	雪崩対策施設が必要とされた箇所について、調査区域の勾配・地形・土質・雪崩の種類等を考慮のうえ、発生区・走路・堆積区の名区分で封築工法を複数案選定する（一次選定）。また、経済性・施工性・工法の有効性類について比較検討し、最適工法を選定する（二次選定）。選定した最適工法が、最も有効にその効果を発揮するよう概略の配置計画を行う。	報告書作成	設計	本業務の成果として上記を取りまとめ、業務報告書を作成する。	
名称	区分	業務内容																				
雪況調査・調査結果整理	測量	対象とする切土法面および自然斜面について、植生状況、地形状況、斜面積雪状況、雪崩発生状況を現地調査し、雪崩危険箇所を抽出する基礎資料として図化等により整理する。 ：1日の調査範囲：対象斜面（3斜面/日）の調査：積雪横断観測（3断面） ：調査項目：雪崩発生状況の写真撮影、路線上への雪害状況積雪横断観測、封築工の効果確認																				
雪崩危険斜面の抽出：危険度評価	設計	資料収集整理および現地調査結果から、植生状況分布図、勾配状況分布図、見通し水分分布図、雪崩発生状況図を作成のうえ、雪崩発生危険箇所を抽出する。抽出した発生危険箇所、保全対象条件、および定点気象観測結果を得た当該箇所の冬期気象特性を助案のうえ、斜面に対する雪崩危険性の度合いを評価し、雪崩対策施設の必要性やその優先順位について検討する。																				
雪崩運動解析	設計	雪崩発生範囲ならびに各斜面について雪崩発生厚を設定し、その流下状況や速度を把握するために、雪崩流下経路および速度再現シミュレーションを実施する。 実施条件は、「①斜面長50m以上」、「②斜面法肩と道路路肩の間が一次：二次堆雪幅以上」のいずれかを満たす場合とする。																				
封築工法の概略検討	設計	雪崩対策施設が必要とされた箇所について、調査区域の勾配・地形・土質・雪崩の種類等を考慮のうえ、発生区・走路・堆積区の名区分で封築工法を複数案選定する（一次選定）。また、経済性・施工性・工法の有効性類について比較検討し、最適工法を選定する（二次選定）。選定した最適工法が、最も有効にその効果を発揮するよう概略の配置計画を行う。																				
報告書作成	設計	本業務の成果として上記を取りまとめ、業務報告書を作成する。																				

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																																																																																																																								
委託	追加		<p>3-2-4 標準歩掛 (1) 測量業務</p> <table border="1" data-bbox="1272 327 2007 577"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="5">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>測 量 技 師</th> <th>測 量 技 師 補 助 手</th> <th>測 量 技 師 補 助 手</th> <th>測 量 技 師 補 助 手</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定点観測機器設置撤去</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td></td> <td>1.6</td> <td>0.6</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>定点観測調査 (測器データ回収・保守点検)</td> <td></td> <td>1</td> <td>回</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定点観測データ整理</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td>0.8</td> <td>3.1</td> <td>5.8</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雪況調査</td> <td></td> <td>1</td> <td>回</td> <td>0.3</td> <td>0.5</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査結果整理</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td>0.6</td> <td>1.7</td> <td>2.0</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 定点観測機器については、必要時について事前に検討すること。定点観測機器を設置する場合は、風向・風速計、気温計、積雪深計の3種類、6m支柱を標準とする。定点観測機器を設置しない場合は、定点観測機器設置撤去、定点観測調査(測器データ回収・保守点検)および定点観測データ整理は計上しない。</p> <p>2. 定点観測機器設置撤去、定点観測調査は、測器1箇所/1業務、道路脇に設置することを標準とする。斜面上に設置する場合は道路脇の場合の150%とする。</p> <p>3. 雪況調査は、斜面条件を面積1,000㎡以上37,000㎡未満・積雪深4m未満・直高10m以上35m未満、かつ積雪積断観測1測線を標準とする。</p> <p>4. 調査結果整理は、上記3.の場合で3回程度の実施を標準としている。</p> <p>5. 標準以外は3-2-5歩掛の補正により歩掛を補正する。</p> <p>(2) 設計業務</p> <table border="1" data-bbox="1272 949 2007 1252"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職 種</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="5">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>表 任 技 師</th> <th>技 師 (A)</th> <th>技 師 (B)</th> <th>技 師 (C)</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画 準 備</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現 地 踏 査</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 料 収 集 生 理</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>2.3</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>雪 崩 危 険 箇 所 の 抽 出 ・ 危 険 度 評 価</td> <td></td> <td>1</td> <td>義務</td> <td></td> <td>0.7</td> <td>1.1</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>雪 崩 運 動 解 析</td> <td></td> <td>1</td> <td>業務</td> <td>0.5</td> <td>0.8</td> <td>1.6</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対 策 工 法 の 概 略 検 討</td> <td></td> <td>1</td> <td>業務</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>1.1</td> <td>1.7</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>報 告 書 作 成</td> <td></td> <td>1</td> <td>業務</td> <td>0.8</td> <td>1.4</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	職 種	数量	単位	直 接 人 件 費					測 量 技 師	測 量 技 師 補 助 手	測 量 技 師 補 助 手	測 量 技 師 補 助 手	普 通 作 業 員	定点観測機器設置撤去		1	義務			1.6	0.6	2.8	定点観測調査 (測器データ回収・保守点検)		1	回	0.4	0.4	0.2	0.2		定点観測データ整理		1	義務	0.8	3.1	5.8	0.2		雪況調査		1	回	0.3	0.5	0.3	0.2		調査結果整理		1	義務	0.6	1.7	2.0	2.9		区分	職 種	数量	単位	直 接 人 件 費					表 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員	計 画 準 備		1	義務	0.6	0.8	0.8			現 地 踏 査		1	義務		0.7	0.8			資 料 収 集 生 理		1	義務			1.2	2.3	3.6	雪 崩 危 険 箇 所 の 抽 出 ・ 危 険 度 評 価		1	義務		0.7	1.1	1.5	1.5	雪 崩 運 動 解 析		1	業務	0.5	0.8	1.6	1.5		対 策 工 法 の 概 略 検 討		1	業務	0.4	0.6	1.1	1.7	1.0	報 告 書 作 成		1	業務	0.8	1.4	2.0	2.2	0.4	
区分	職 種	数量	単位					直 接 人 件 費																																																																																																																																				
				測 量 技 師	測 量 技 師 補 助 手	測 量 技 師 補 助 手	測 量 技 師 補 助 手	普 通 作 業 員																																																																																																																																				
定点観測機器設置撤去		1	義務			1.6	0.6	2.8																																																																																																																																				
定点観測調査 (測器データ回収・保守点検)		1	回	0.4	0.4	0.2	0.2																																																																																																																																					
定点観測データ整理		1	義務	0.8	3.1	5.8	0.2																																																																																																																																					
雪況調査		1	回	0.3	0.5	0.3	0.2																																																																																																																																					
調査結果整理		1	義務	0.6	1.7	2.0	2.9																																																																																																																																					
区分	職 種	数量	単位	直 接 人 件 費																																																																																																																																								
				表 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員																																																																																																																																				
計 画 準 備		1	義務	0.6	0.8	0.8																																																																																																																																						
現 地 踏 査		1	義務		0.7	0.8																																																																																																																																						
資 料 収 集 生 理		1	義務			1.2	2.3	3.6																																																																																																																																				
雪 崩 危 険 箇 所 の 抽 出 ・ 危 険 度 評 価		1	義務		0.7	1.1	1.5	1.5																																																																																																																																				
雪 崩 運 動 解 析		1	業務	0.5	0.8	1.6	1.5																																																																																																																																					
対 策 工 法 の 概 略 検 討		1	業務	0.4	0.6	1.1	1.7	1.0																																																																																																																																				
報 告 書 作 成		1	業務	0.8	1.4	2.0	2.2	0.4																																																																																																																																				

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考
委託	追加		<p>注) 1. 1業務は、斜面条件を面積1,000㎡以上37,000㎡未満、積雪深4m未満、直高10m以上35m未満を標準とする。</p> <p>2. 資料収集整理は、アメダス1箇所あたり過去30年程度、テレメータ1箇所あたり収集可能(平均過去10年程度を目安)な積雪深データを収集する。テレメータデータの不足分(平均過去20年程度)は、テレメータとアメダスとの相関式で補完することを基準とする。 なお、箇所数の増減による歩掛補正は行わない。</p> <p>3. 標準以外は3-2-5歩掛補正により歩掛を補正する。</p>	

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																																																																																																							
委託	追加		<p><u>3-2-5 歩掛の補正</u></p> <p><u>(1) 測量業務</u></p> <p><u>1) 箇所数による補正</u></p> <p><u>① 定点観測機器設置撤去の箇所数の補正は、次式により行う。</u></p> <p>歩掛=標準歩掛×{1+(n₁-1)×0.2} 但し n₁≥2 n₁: 測器セット数</p> <p><u>② 定点観測調査の箇所数の補正は、次式により行う。</u></p> <p>歩掛=標準歩掛×{1+(n₂-1)×0.2} 但し n₂≥2 n₂: 定点観測調査箇所数</p> <p><u>③ 雪況調査の箇所数の補正は、次式により行う。</u></p> <p>歩掛=標準歩掛×{1+(n₃-1)} 但し n₃≥2 n₃: 雪況調査箇所(測線)数</p> <p><u>④ 調査結果整理の箇所数の補正は、次式により行う。</u></p> <p>歩掛=標準歩掛×{1+(n₄-1)×0.2} 但し n₄≥2 n₄: 雪況調査箇所(測線)数</p> <p><u>2) 斜面条件による補正</u></p> <p><u>① 斜面条件の差異による増減率は、下図フローで選定されたケースの係数(下表参照)を採用のうえ、歩掛に垂じるものとする。</u></p> <div data-bbox="1323 807 1991 1086" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th><条件1> 斜面の面積 (3分組)</th> <th><条件2> 積雪深 (2分組)</th> <th><条件3> 斜面高(直高) (1-3分組)</th> <th>ケース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">対象斜面</td> <td rowspan="3">1000㎡未満</td> <td rowspan="3">4m未満・以上</td> <td>10m未満</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>10m以上35m未満</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">1000㎡以上 37000㎡未満</td> <td rowspan="5">4m未満・以上</td> <td>10m未満</td> <td>7.12</td> </tr> <tr> <td>10m以上35m未満</td> <td>8.13</td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>9.14</td> </tr> <tr> <td>70m以上140m未満</td> <td>10.15</td> </tr> <tr> <td>140m以上</td> <td>11.16</td> </tr> <tr> <td>37000㎡以上</td> <td>4m未満・以上</td> <td>140m以上</td> <td>17.18</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1357 1094 1955 1433" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>斜面</th> <th>斜面の面積</th> <th>積雪深</th> <th>斜面高(直高)</th> <th>ケース</th> <th>雪況調査</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18">人工法面 自然斜面</td> <td rowspan="6">1000㎡未満</td> <td rowspan="3">4m未満</td> <td>10m未満</td> <td>1</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10m以上35m未満</td> <td>2</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>3</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4m以上</td> <td>10m未満</td> <td>4</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10m以上35m未満</td> <td>5</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>6</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">1000㎡以上 37000㎡未満</td> <td rowspan="3">4m未満</td> <td>10m未満</td> <td>7</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10m以上35m未満</td> <td>8</td> <td>1.0</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>9</td> <td>1.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4m以上</td> <td>70m以上140m未満</td> <td>10</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>140m以上</td> <td>11</td> <td>3.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10m未満</td> <td>12</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">37000㎡以上</td> <td rowspan="3">4m未満</td> <td>10m以上35m未満</td> <td>13</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>14</td> <td>1.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>70m以上140m未満</td> <td>15</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4m以上</td> <td>140m以上</td> <td>16</td> <td>3.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>140m以上</td> <td>17</td> <td>3.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>140m以上</td> <td>18</td> <td>3.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>		<条件1> 斜面の面積 (3分組)	<条件2> 積雪深 (2分組)	<条件3> 斜面高(直高) (1-3分組)	ケース	対象斜面	1000㎡未満	4m未満・以上	10m未満	1.4	10m以上35m未満	2.5	35m以上70m未満	3.6	1000㎡以上 37000㎡未満	4m未満・以上	10m未満	7.12	10m以上35m未満	8.13	35m以上70m未満	9.14	70m以上140m未満	10.15	140m以上	11.16	37000㎡以上	4m未満・以上	140m以上	17.18	斜面	斜面の面積	積雪深	斜面高(直高)	ケース	雪況調査	備考	人工法面 自然斜面	1000㎡未満	4m未満	10m未満	1	0.6		10m以上35m未満	2	0.8		35m以上70m未満	3	1.0		4m以上	10m未満	4	0.6		10m以上35m未満	5	0.8		35m以上70m未満	6	1.0		1000㎡以上 37000㎡未満	4m未満	10m未満	7	0.8		10m以上35m未満	8	1.0	標準	35m以上70m未満	9	1.7		4m以上	70m以上140m未満	10	2.4		140m以上	11	3.1		10m未満	12	0.8		37000㎡以上	4m未満	10m以上35m未満	13	1.0		35m以上70m未満	14	1.7		70m以上140m未満	15	2.4		4m以上	140m以上	16	3.1		140m以上	17	3.1		140m以上	18	3.1		
	<条件1> 斜面の面積 (3分組)	<条件2> 積雪深 (2分組)	<条件3> 斜面高(直高) (1-3分組)	ケース																																																																																																																							
対象斜面	1000㎡未満	4m未満・以上	10m未満	1.4																																																																																																																							
			10m以上35m未満	2.5																																																																																																																							
			35m以上70m未満	3.6																																																																																																																							
	1000㎡以上 37000㎡未満	4m未満・以上	10m未満	7.12																																																																																																																							
			10m以上35m未満	8.13																																																																																																																							
			35m以上70m未満	9.14																																																																																																																							
			70m以上140m未満	10.15																																																																																																																							
			140m以上	11.16																																																																																																																							
	37000㎡以上	4m未満・以上	140m以上	17.18																																																																																																																							
	斜面	斜面の面積	積雪深	斜面高(直高)	ケース	雪況調査	備考																																																																																																																				
	人工法面 自然斜面	1000㎡未満	4m未満	10m未満	1	0.6																																																																																																																					
				10m以上35m未満	2	0.8																																																																																																																					
35m以上70m未満				3	1.0																																																																																																																						
4m以上			10m未満	4	0.6																																																																																																																						
			10m以上35m未満	5	0.8																																																																																																																						
			35m以上70m未満	6	1.0																																																																																																																						
1000㎡以上 37000㎡未満		4m未満	10m未満	7	0.8																																																																																																																						
			10m以上35m未満	8	1.0	標準																																																																																																																					
			35m以上70m未満	9	1.7																																																																																																																						
		4m以上	70m以上140m未満	10	2.4																																																																																																																						
			140m以上	11	3.1																																																																																																																						
			10m未満	12	0.8																																																																																																																						
37000㎡以上		4m未満	10m以上35m未満	13	1.0																																																																																																																						
			35m以上70m未満	14	1.7																																																																																																																						
			70m以上140m未満	15	2.4																																																																																																																						
		4m以上	140m以上	16	3.1																																																																																																																						
			140m以上	17	3.1																																																																																																																						
			140m以上	18	3.1																																																																																																																						

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																																																																																																																																												
委託	追加		<p><u>(2)設計業務</u></p> <p><u>1)箇所数による補正</u></p> <p>①雪前危険斜面の抽出：危険度評価については、次式により箇所数の補正を行う。 $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_s - 1) \times 0.7\} \quad \text{但し } n_s \geq 2$</p> <p>②雪前運動解析については、次式により箇所数の補正を行う。 $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_s - 1) \times 0.7\} \quad \text{但し } n_s \geq 2$</p> <p>③対策工法の概略検討については、次式により箇所数の補正を行う。 $\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_s - 1) \times 0.7\} \quad \text{但し } n_s \geq 2$</p> <p style="text-align: right;">n_s：雪況調査箇所数</p> <p><u>2)斜面条件による補正</u></p> <p>①斜面条件の差異による「雪前危険斜面の抽出：危険度評価」、「雪前運動解析」、「対策工法の概略検討」増減率は、下図フローで選定されたケースの係数(下表参照)を採用のうえ、各々の歩掛に垂じるものとする。</p> <div data-bbox="1272 675 1957 954" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th><条件1> 斜面の面積 (3分類)</th> <th><条件2> 積雪深 (2分類)</th> <th><条件3> 斜面高(直高) (1-5分類)</th> <th>ケース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: left; vertical-align: middle;">対象斜面</td> <td rowspan="3">1000㎡未満</td> <td rowspan="3">4m未満・以上</td> <td>10m未満</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>10m以上35m未満</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1000㎡以上 37000㎡未満</td> <td rowspan="4">4m未満・以上</td> <td>10m未満</td> <td>7.12</td> </tr> <tr> <td>10m以上35m未満</td> <td>8.13</td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>9.14</td> </tr> <tr> <td>70m以上140m未満 140m以上</td> <td>10.15 11.16</td> </tr> <tr> <td>37000㎡以上</td> <td>4m未満・以上</td> <td>140m以上</td> <td>17.18</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1258 975 1966 1331" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>斜面</th> <th>斜面の面積</th> <th>積雪深</th> <th>斜面高(直高)</th> <th>ケース</th> <th>雪前危険斜面の抽出</th> <th>雪前運動解析</th> <th>対策工法の概略検討</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工法面</td> <td>1000㎡未満</td> <td>4m未満</td> <td>10m未満</td> <td>1</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="18">自然斜面</td> <td rowspan="6">1000㎡未満</td> <td rowspan="6">4m未満</td> <td>10m以上35m未満</td> <td>2</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>3</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4m以上</td> <td>10m未満</td> <td>4</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10m以上35m未満</td> <td>5</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>6</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">1000㎡以上 37000㎡未満</td> <td rowspan="6">4m未満</td> <td>10m未満</td> <td>7</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10m以上35m未満</td> <td>8</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>9</td> <td>1.4</td> <td>1.7</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>70m以上140m未満</td> <td>10</td> <td>1.8</td> <td>2.4</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>140m以上</td> <td>11</td> <td>2.2</td> <td>3.1</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">4m以上</td> <td>10m未満</td> <td>12</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10m以上35m未満</td> <td>13</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>35m以上70m未満</td> <td>14</td> <td>1.4</td> <td>1.7</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>70m以上140m未満</td> <td>15</td> <td>1.8</td> <td>2.4</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>140m以上</td> <td>16</td> <td>2.2</td> <td>3.1</td> <td>1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">37000㎡以上</td> <td>4m未満</td> <td>17</td> <td>2.6</td> <td>3.1</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4m以上</td> <td>18</td> <td>2.6</td> <td>3.1</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>		<条件1> 斜面の面積 (3分類)	<条件2> 積雪深 (2分類)	<条件3> 斜面高(直高) (1-5分類)	ケース	対象斜面	1000㎡未満	4m未満・以上	10m未満	1.4	10m以上35m未満	2.5	35m以上70m未満	3.6	1000㎡以上 37000㎡未満	4m未満・以上	10m未満	7.12	10m以上35m未満	8.13	35m以上70m未満	9.14	70m以上140m未満 140m以上	10.15 11.16	37000㎡以上	4m未満・以上	140m以上	17.18	斜面	斜面の面積	積雪深	斜面高(直高)	ケース	雪前危険斜面の抽出	雪前運動解析	対策工法の概略検討	備考	人工法面	1000㎡未満	4m未満	10m未満	1	0.6	0.6	0.6		自然斜面	1000㎡未満	4m未満	10m以上35m未満	2	0.8	0.8	0.8		35m以上70m未満	3	1.0	1.0	1.0		4m以上	10m未満	4	0.6	0.6	0.8		10m以上35m未満	5	0.8	0.8	1.0		35m以上70m未満	6	1.0	1.0	1.2		1000㎡以上 37000㎡未満	4m未満	10m未満	7	0.8	0.8	0.8		10m以上35m未満	8	1.0	1.0	1.0	標準	35m以上70m未満	9	1.4	1.7	1.2		70m以上140m未満	10	1.8	2.4	1.4		140m以上	11	2.2	3.1	1.6		4m以上	10m未満	12	0.8	0.8	1.0		10m以上35m未満	13	1.0	1.0	1.2		35m以上70m未満	14	1.4	1.7	1.4		70m以上140m未満	15	1.8	2.4	1.6		140m以上	16	2.2	3.1	1.8		37000㎡以上	4m未満	17	2.6	3.1	2.0		4m以上	18	2.6	3.1	2.2		
	<条件1> 斜面の面積 (3分類)	<条件2> 積雪深 (2分類)	<条件3> 斜面高(直高) (1-5分類)	ケース																																																																																																																																																												
対象斜面	1000㎡未満	4m未満・以上	10m未満	1.4																																																																																																																																																												
			10m以上35m未満	2.5																																																																																																																																																												
			35m以上70m未満	3.6																																																																																																																																																												
	1000㎡以上 37000㎡未満	4m未満・以上	10m未満	7.12																																																																																																																																																												
			10m以上35m未満	8.13																																																																																																																																																												
			35m以上70m未満	9.14																																																																																																																																																												
			70m以上140m未満 140m以上	10.15 11.16																																																																																																																																																												
	37000㎡以上	4m未満・以上	140m以上	17.18																																																																																																																																																												
	斜面	斜面の面積	積雪深	斜面高(直高)	ケース	雪前危険斜面の抽出	雪前運動解析	対策工法の概略検討		備考																																																																																																																																																						
	人工法面	1000㎡未満	4m未満	10m未満	1	0.6	0.6	0.6																																																																																																																																																								
	自然斜面	1000㎡未満	4m未満	10m以上35m未満	2	0.8	0.8	0.8																																																																																																																																																								
				35m以上70m未満	3	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																								
4m以上				10m未満	4	0.6	0.6	0.8																																																																																																																																																								
				10m以上35m未満	5	0.8	0.8	1.0																																																																																																																																																								
				35m以上70m未満	6	1.0	1.0	1.2																																																																																																																																																								
1000㎡以上 37000㎡未満				4m未満	10m未満	7	0.8	0.8	0.8																																																																																																																																																							
		10m以上35m未満	8		1.0	1.0	1.0	標準																																																																																																																																																								
		35m以上70m未満	9		1.4	1.7	1.2																																																																																																																																																									
		70m以上140m未満	10		1.8	2.4	1.4																																																																																																																																																									
		140m以上	11		2.2	3.1	1.6																																																																																																																																																									
		4m以上	10m未満		12	0.8	0.8	1.0																																																																																																																																																								
10m以上35m未満			13	1.0	1.0	1.2																																																																																																																																																										
35m以上70m未満			14	1.4	1.7	1.4																																																																																																																																																										
70m以上140m未満			15	1.8	2.4	1.6																																																																																																																																																										
140m以上			16	2.2	3.1	1.8																																																																																																																																																										
37000㎡以上			4m未満	17	2.6	3.1	2.0																																																																																																																																																									
		4m以上	18	2.6	3.1	2.2																																																																																																																																																										

平成27年10月 土木工事積算基準等正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																						
委託	設河構-44 (738)	<p>804-403-03 樋門詳細設計（乗構造形式（電算タイプ））</p> <p>施工単価コード <u>DXC44001</u></p> <p>↓</p> <p>施工単価コード <u>DXC44016</u></p> <p>標準 RC構造：一連当り断面積2m²以上7m²以下×1連×40m (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職種</th> <th colspan="6">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>設計計画</td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現地踏査</td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本事項の決定</td><td></td><td>1.0</td><td>2.5</td><td>4.5</td><td>7.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>景観設計</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="6">構造設計</td><td>設計条件の確認</td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>3.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基礎工</td><td></td><td>2.0</td><td>4.0</td><td>8.5</td><td>3.0</td><td></td></tr> <tr><td>高水標準・低水標準及び土工</td><td></td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>呑口部修正</td><td></td><td>0.6</td><td>1.3</td><td>1.3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>吐口部修正</td><td></td><td>0.6</td><td>1.3</td><td>1.3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>施工計画</td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>5.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>仮設構造物設計</td><td></td><td>1.0</td><td>2.5</td><td>5.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量計算</td><td></td><td></td><td></td><td>1.2</td><td>2.8</td><td>4.6</td></tr> <tr><td>パース作成</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>3.5</td><td></td></tr> <tr><td>照査</td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td></tr> <tr><td>報告書作成</td><td></td><td></td><td>1.5</td><td>3.0</td><td>3.5</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td>2.0</td><td>13.2</td><td>26.6</td><td>44.3</td><td>9.3</td><td>9.6</td></tr> </tbody> </table>	区分	職種	直接人件費						技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画			0.5	2.0	1.0			現地踏査			0.5	1.0	1.5			基本事項の決定		1.0	2.5	4.5	7.5			景観設計			1.0	1.5	2.0			構造設計	設計条件の確認		1.0	2.0	3.5			基礎工		2.0	4.0	8.5	3.0		高水標準・低水標準及び土工				2.0	3.5	5.0	呑口部修正		0.6	1.3	1.3			吐口部修正		0.6	1.3	1.3			施工計画		1.0	1.5	5.0			仮設構造物設計		1.0	2.5	5.0			数量計算				1.2	2.8	4.6	パース作成				1.0	3.5		照査		1.0	1.0	2.0	1.0		報告書作成			1.5	3.0	3.5		合計		2.0	13.2	26.6	44.3	9.3	9.6	<p>804-403-03 樋門詳細設計（乗構造形式（電算タイプ））</p> <p>設計計画～報告書作成 （構造設計、数量計算を除く）</p> <p>施工単価コード <u>WS303301～WS303311</u></p> <p>構造設計、数量計算</p> <p>施工単価コード <u>DXC44005～DXC44014</u></p> <p>標準 RC構造：一連当り断面積2m²以上7m²以下×1連×40m (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職種</th> <th colspan="6">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>設計計画</td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現地踏査</td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本事項の決定</td><td></td><td>1.0</td><td>2.5</td><td>4.5</td><td>7.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>景観設計</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="6">構造設計</td><td>設計条件の確認</td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>3.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基礎工</td><td></td><td>2.0</td><td>4.0</td><td>8.5</td><td>3.0</td><td></td></tr> <tr><td>高水標準・低水標準及び土工</td><td></td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>呑口部修正</td><td></td><td>0.6</td><td>1.3</td><td>1.3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>吐口部修正</td><td></td><td>0.6</td><td>1.3</td><td>1.3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>施工計画</td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>5.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>仮設構造物設計</td><td></td><td>1.0</td><td>2.5</td><td>5.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量計算</td><td></td><td></td><td></td><td>1.2</td><td>2.8</td><td>4.6</td></tr> <tr><td>パース作成</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>3.5</td><td></td></tr> <tr><td>照査</td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td></tr> <tr><td>報告書作成</td><td></td><td></td><td>1.5</td><td>3.0</td><td>3.5</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td>2.0</td><td>13.2</td><td>26.6</td><td>44.3</td><td>9.3</td><td>9.6</td></tr> </tbody> </table>	区分	職種	直接人件費						技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画			0.5	2.0	1.0			現地踏査			0.5	1.0	1.5			基本事項の決定		1.0	2.5	4.5	7.5			景観設計			1.0	1.5	2.0			構造設計	設計条件の確認		1.0	2.0	3.5			基礎工		2.0	4.0	8.5	3.0		高水標準・低水標準及び土工				2.0	3.5	5.0	呑口部修正		0.6	1.3	1.3			吐口部修正		0.6	1.3	1.3			施工計画		1.0	1.5	5.0			仮設構造物設計		1.0	2.5	5.0			数量計算				1.2	2.8	4.6	パース作成				1.0	3.5		照査		1.0	1.0	2.0	1.0		報告書作成			1.5	3.0	3.5		合計		2.0	13.2	26.6	44.3	9.3	9.6															
	区分	職種			直接人件費																																																																																																																																																																																																																																																																																					
技師長			主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設計計画			0.5	2.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
現地踏査			0.5	1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基本事項の決定		1.0	2.5	4.5	7.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
景観設計			1.0	1.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
構造設計	設計条件の確認		1.0	2.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	基礎工		2.0	4.0	8.5	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	高水標準・低水標準及び土工				2.0	3.5	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	呑口部修正		0.6	1.3	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	吐口部修正		0.6	1.3	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	施工計画		1.0	1.5	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
仮設構造物設計		1.0	2.5	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
数量計算				1.2	2.8	4.6																																																																																																																																																																																																																																																																																				
パース作成				1.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
照査		1.0	1.0	2.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
報告書作成			1.5	3.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
合計		2.0	13.2	26.6	44.3	9.3	9.6																																																																																																																																																																																																																																																																																			
区分	職種	直接人件費																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設計計画			0.5	2.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
現地踏査			0.5	1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基本事項の決定		1.0	2.5	4.5	7.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
景観設計			1.0	1.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
構造設計	設計条件の確認		1.0	2.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	基礎工		2.0	4.0	8.5	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	高水標準・低水標準及び土工				2.0	3.5	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	呑口部修正		0.6	1.3	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	吐口部修正		0.6	1.3	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	施工計画		1.0	1.5	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
仮設構造物設計		1.0	2.5	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																						
数量計算				1.2	2.8	4.6																																																																																																																																																																																																																																																																																				
パース作成				1.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
照査		1.0	1.0	2.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
報告書作成			1.5	3.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
合計		2.0	13.2	26.6	44.3	9.3	9.6																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	設河構-45 (739)	<p>804-403-04 樋門詳細設計（剛支持直接基礎（電算タイプ））</p> <p>施工単価コード <u>DXC44201</u></p> <p>↓</p> <p>施工単価コード <u>DXC44217</u></p> <p>標準 RC構造：一連当り断面積5m²以下×1連×2スパン (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職種</th> <th colspan="6">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>設計計画</td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現地踏査</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本事項の決定</td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>3.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>景観設計</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="6">構造設計</td><td>設計条件の確認</td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基礎工</td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>3.0</td><td></td></tr> <tr><td>躯体工</td><td></td><td></td><td></td><td>1.3</td><td>2.6</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>高水標準・低水標準及び土工</td><td></td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>呑口部修正</td><td></td><td>0.6</td><td>1.3</td><td>1.3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>吐口部修正</td><td></td><td>0.6</td><td>1.3</td><td>1.3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>施工計画</td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.5</td><td>2.5</td><td></td></tr> <tr><td>仮設構造物設計</td><td></td><td>1.0</td><td>2.5</td><td>4.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量計算</td><td></td><td></td><td></td><td>1.3</td><td>2.3</td><td>3.8</td></tr> <tr><td>パース作成</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>3.5</td><td></td></tr> <tr><td>照査</td><td></td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td></tr> <tr><td>報告書作成</td><td></td><td></td><td>1.5</td><td>3.0</td><td>3.5</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td>2.5</td><td>11.2</td><td>22.1</td><td>30.7</td><td>13.9</td><td>13.6</td></tr> </tbody> </table>	区分	職種	直接人件費						技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画			0.5	2.0	1.0			現地踏査			1.0	1.0	1.5			基本事項の決定		1.0	2.0	2.0	3.5			景観設計			1.0	1.5	2.0			構造設計	設計条件の確認		1.0	2.0	2.0			基礎工			2.0	2.0	3.0		躯体工				1.3	2.6	4.8	高水標準・低水標準及び土工				2.0	3.5	5.0	呑口部修正		0.6	1.3	1.3			吐口部修正		0.6	1.3	1.3			施工計画		1.0	1.5	2.5	2.5		仮設構造物設計		1.0	2.5	4.5			数量計算				1.3	2.3	3.8	パース作成				1.0	3.5		照査		1.5	1.0	2.0	1.0		報告書作成			1.5	3.0	3.5		合計		2.5	11.2	22.1	30.7	13.9	13.6	<p>804-403-04 樋門詳細設計（剛支持直接基礎（電算タイプ））</p> <p>設計計画～報告書作成 （構造設計、数量計算を除く）</p> <p>施工単価コード <u>WS303401～WS303411</u></p> <p>構造設計、数量計算</p> <p>施工単価コード <u>DXC44205～DXC44215</u></p> <p>標準 RC構造：一連当り断面積5m²以下×1連×2スパン (1箇所当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職種</th> <th colspan="6">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師A</th> <th>技師B</th> <th>技師C</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>設計計画</td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現地踏査</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基本事項の決定</td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>3.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>景観設計</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="6">構造設計</td><td>設計条件の確認</td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>基礎工</td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>3.0</td><td></td></tr> <tr><td>躯体工</td><td></td><td></td><td></td><td>1.3</td><td>2.6</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>高水標準・低水標準及び土工</td><td></td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>3.5</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>呑口部修正</td><td></td><td>0.6</td><td>1.3</td><td>1.3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>吐口部修正</td><td></td><td>0.6</td><td>1.3</td><td>1.3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>施工計画</td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.5</td><td>2.5</td><td></td></tr> <tr><td>仮設構造物設計</td><td></td><td>1.0</td><td>2.5</td><td>4.5</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量計算</td><td></td><td></td><td></td><td>1.3</td><td>2.3</td><td>3.8</td></tr> <tr><td>パース作成</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>3.5</td><td></td></tr> <tr><td>照査</td><td></td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>1.0</td><td></td></tr> <tr><td>報告書作成</td><td></td><td></td><td>1.5</td><td>3.0</td><td>3.5</td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td>2.5</td><td>11.2</td><td>22.1</td><td>30.7</td><td>13.9</td><td>13.6</td></tr> </tbody> </table>	区分	職種	直接人件費						技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	設計計画			0.5	2.0	1.0			現地踏査			1.0	1.0	1.5			基本事項の決定		1.0	2.0	2.0	3.5			景観設計			1.0	1.5	2.0			構造設計	設計条件の確認		1.0	2.0	2.0			基礎工			2.0	2.0	3.0		躯体工				1.3	2.6	4.8	高水標準・低水標準及び土工				2.0	3.5	5.0	呑口部修正		0.6	1.3	1.3			吐口部修正		0.6	1.3	1.3			施工計画		1.0	1.5	2.5	2.5		仮設構造物設計		1.0	2.5	4.5			数量計算				1.3	2.3	3.8	パース作成				1.0	3.5		照査		1.5	1.0	2.0	1.0		報告書作成			1.5	3.0	3.5		合計		2.5	11.2	22.1	30.7	13.9	13.6	
区分	職種	直接人件費																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設計計画			0.5	2.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
現地踏査			1.0	1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基本事項の決定		1.0	2.0	2.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
景観設計			1.0	1.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
構造設計	設計条件の確認		1.0	2.0	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	基礎工			2.0	2.0	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	躯体工				1.3	2.6	4.8																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	高水標準・低水標準及び土工				2.0	3.5	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	呑口部修正		0.6	1.3	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	吐口部修正		0.6	1.3	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工計画		1.0	1.5	2.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
仮設構造物設計		1.0	2.5	4.5																																																																																																																																																																																																																																																																																						
数量計算				1.3	2.3	3.8																																																																																																																																																																																																																																																																																				
パース作成				1.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
照査		1.5	1.0	2.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
報告書作成			1.5	3.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
合計		2.5	11.2	22.1	30.7	13.9	13.6																																																																																																																																																																																																																																																																																			
区分	職種	直接人件費																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設計計画			0.5	2.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
現地踏査			1.0	1.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
基本事項の決定		1.0	2.0	2.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
景観設計			1.0	1.5	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
構造設計	設計条件の確認		1.0	2.0	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	基礎工			2.0	2.0	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	躯体工				1.3	2.6	4.8																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	高水標準・低水標準及び土工				2.0	3.5	5.0																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	呑口部修正		0.6	1.3	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	吐口部修正		0.6	1.3	1.3																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工計画		1.0	1.5	2.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
仮設構造物設計		1.0	2.5	4.5																																																																																																																																																																																																																																																																																						
数量計算				1.3	2.3	3.8																																																																																																																																																																																																																																																																																				
パース作成				1.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
照査		1.5	1.0	2.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																					
報告書作成			1.5	3.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																					
合計		2.5	11.2	22.1	30.7	13.9	13.6																																																																																																																																																																																																																																																																																			

600-102-03 外業に伴うライトバン運転（日帰り）

施工単価コード	D X D 9 7 2 0 0
---------	-----------------

種別 \ 片道距離	30 km以上 60 km未満	60 km以上 100 km未満	100 km以上 150 km未満	備考
交通費	(2.8 h)	(4.2 h)	(6.0 h)	ライトバンによる往復。 現地内運転1時間を含む。

1-4-4 外業に伴う旅費交通費の考え方

(1) 測量業務

- 1) 通勤により業務を行う場合、歩掛中に連絡車（ライトバン）を計上してある作業種目については、連絡車（ライトバン）運転費は機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。
- 2) 現地に滞在して業務を行う場合、歩掛中に連絡車（ライトバン）を計上してある作業種目については、滞在地から現地までの連絡車（ライトバン）運転費は機械経費率等に含まれているため、別途計上しない。また、宿泊を伴う乗り込み、引き上げ（普通旅費）と宿泊（滞在地額旅費）を計上する。なお、日額旅費は計上しない。
- 3) 片道30 km以上もしくは片道所要時間1時間を超える場合は、現地に滞在して業務を行うこと。

(2) 地質調査業務

地質調査業務において、連絡車（ライトバン）が含まれていない歩掛については、間接調査費（旅費交通費）に別途計上すること。

宿泊については(1)測量業務と同じ。なお、日額旅費は計上しない。

1-5 打合せ等に伴う旅費交通費

1-5-1 留意事項

打合せ等のため最寄り本・支社（積算上の出発地）と当該出張所等までの間を往復する費用として、測量業務、地質調査業務、設計業務の打合せ等に適用する。（現地立会も含む）

- (1) 積算距離は、積算起点から打合せ場所とする。（片道2 km未満の場合は交通費を計上しない。）
- (2) 日帰りを原則とし、往復距離により宿泊となる場合は、鉄道・航空機等の利用を勘案し経済比較を行う。
- (3) 航空機を利用する場合は、積算起点市町に飛行場がある場合は市内の交通費を計上しない。
- (4) 打合せ等が、標準歩掛に明記してある歩掛については、歩掛（〇人／回）に、往復旅行時間にかかる基準日額が含まれていることとし、往復旅行に係わる交通費のみを計上する。

標準歩掛に明記されていない場合は、往復旅行時間にかかる基準日額を含み0.5人／回を標準とし、往復旅行に係わる交通費のみを計上する。

ただし、片道30 km以上の場合は、30 kmを超えた部分の往復旅行時間にかかる基準日額を加算するとともに、片道60 km以上（一般交通使用の場合は片道50 km以上）の場合は、日当を加算する。

1-13 冬期の歩掛補正

1-13-1 冬期歩掛補正基準

- (1) 冬期屋外作業の歩掛補正は、11月1日以降に入札する測量、調査業務を対象とする。
 その他、10月に入札するもので全屋外作業（外業）期間に占める冬期間（11月1日から3月31日まで）の割合が2分の1を超える場合について対象とする。
- (2) 歩掛補正は、屋外作業（外業）に従事する者を対象に行う。
- (3) 歩掛の補正は、期間別に次表の割合を標準として行う。

歩掛補正率表

屋外作業の終了月 屋外作業の開始月	冬期割増率 (単位は%)				
	11月	12月	1月	2月	3月
10月	—	2	3	3	3
11月	—	3	3	4	3
12月	—	4	5	4	4
1月	—	—	5	5	4
2月	—	—	—	4	3
3月	—	—	—	—	2

- (4) 設計変更等により工期に伸縮を生ずる場合の補正率は、原則として当初設計の補正率による。ただし、当初補正率によることが著しく不適当なものについては、別途積算すること。
- (5) 歩掛の補正は、直接人件費・賃金に対して補正するものとし、次式により冬期補正直接人件費・賃金を算出して積算する。

$$\text{冬期補正設計直接人件費・賃金} = \text{基本設計直接人件費・賃金} \times (1 + \text{冬期割増率})$$
- (6) 設計業務に伴う現地調査及び現地踏査については、歩掛補正の対象外とする。

1-13-2 冬期歩掛補正基準の運用

- (1) 屋外作業期間の設定について
 屋外作業期間とは、発注される業務の中で屋外作業に要する期間である。
 なお、屋外作業（外業）と屋内作業（内業）が交互に混在している場合は、最初の屋外作業（外業）開始日から最後の屋外作業（外業）終了日までを外業期間とする。よって外業期間は、当初発注前に作業内容及び工程等を十分に把握し経済的な屋外作業期間を設定しなければならない。
- (2) 労務費の補正について
 労務費の補正は、補正の対象となる外業期間の外業歩掛について補正する。
- (3) 労務費以外の補正について
 旅費交通費、機械損料及び工期については補正しない。

1-2-2 構成費目の内容

イ 一般調査業務費

一般調査業務費は、高度な技術的判定を含まない単純な地質調査である。

(イ) 純調査費

a 直接調査費

直接調査費は、業務に必要な経費のうち、次の(a)から(d)に掲げるものとする。

(a) 材料費

材料費は、当該調査を実施するのに要する材料の費用である。

(b) 直接人件費

業務に従事する者の人件費である。(旅費交通費に係る基準日額を含む)

(c) 機械経費

直接調査に必要な機器の損料又は使用料とし、各調査の種別ごとに積算し計上する。

(d) 直接経費

① 電子成果品作成費

電子成果品作成に要する費用を計上する。

② 特許使用料

特許使用料は、契約にもとづき支出する特許使用料及び派出する技術者等に要する費用の合計額とする。

③ 水道光熱電力料

水道光熱電力料は、当該調査に必要となる電力、電灯使用料及び用水使用料とする。

b 間接調査費

間接調査費は、業務処理に必要な経費のうち、次の(a)から(i)に掲げるものとする。

(a) 運搬費

機械器具の運搬は、機械器具および資機材運搬、乱さない試料やコアの運搬、現場内小運搬および作業員の輸送に要する費用を計上する。

(b) 準備費

準備及び跡片付作業(伐開除根、測量、各種許認可・申請手続等)、搬入路伐採等に要する費用を計上する。

(c) 仮設費

ボーリングのヤグラ、足場設備、揚水設備及び足場の設置撤去、機械の分解組立、給水設備、仮道、仮橋等の設備に要する費用とし必要な額を計上する。

(d) 安全費

現道の一般交通に対する交通処理、掲示板、保安柵及び保安灯や環境保全のための仮囲い等に要する費用を計上する。

(e) 借地料

特に借上げを必要とする場合などに要する費用を計上する。ただし営繕費対象の敷地については借地料を計上しない。

(f) 旅費・交通費

地質調査技師・主任地質調査員・地質調査員が、当該作業を行うのに要する費用である。

(g) 施工管理費

出来高及び工程管理写真等に要する費用を計上する。

別表第1

(1) 諸経费率標準値

対象額	100万円以下	100万円を超え 3,000万円以下		3,000万円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	(2)の算定式により求められた率とする。ただし、変数値は下記による。		下記の率とする
		A	b	
率又は変数値	52.0%	335.58	-0.135	32.8%

(2) 算定式

$$Z = A \times Y^b$$

ただし、Z：諸経费率（単位：％）

Y：対象額（単位：円）（直接調査費＋間接調査費）

A、b：変数値

（注）諸経費の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点以下1位止めとする。

1-4 電子成果品作成費

(1) 地質調査業務（一般調査）

電子成果品作成費は次の計算式による。

$$\text{電子成果品費} = \text{直接調査費（電子成果品作成費を除く）} \times 0.016$$

ただし、上限を200千円とする。

(2) 地質調査業務（解析等調査）

設計編〔1〕設計業務委託積算基準 1-6 電子成果品作成費 (2) その他の設計業務（(1)以外）による。ただし、別途算出方法が示されている歩掛は除く。

9. 電子成果品作成費等

9-1 電子成果品作成費

〔1〕地質積算基準 1-4 電子成果品作成費 (1) 地質調査業務(一般調査)による。
なお、解析等調査業務費分については、単価に含まれている。

9-2 施工管理費

施工管理費は出来形管理及び写真撮影等を含むものとし直接調査費の0.7%を計上する。

(4) 挿入式孔内傾斜計

※本歩掛には、関係機関打合せ協議（道路使用許可の提出、選点時の土地所有者との協議・立会）及び関係機関協議資料に係る作業時間も含む。

703-106-01 挿入式孔内傾斜計設置

施工単価コード	WS203110
---------	----------

(1孔当り)

種別	細別	単位	数量	摘要
人件費	地質調査技師	人	0.4	
	主任地質調査員	〃	0.4	
	地質調査員	〃	1.2	
材料費	アルミケーシング	本	注1	φ47mm×3mもの 立上がり1mを含む
	アルミカップリング	ヶ	注2	
	ケーシングキャップ類	組	1.0	
	雑品	式	1	雑品を除く材料費の7%

- (注) 1. アルミケーシング数量の算出は、次式による。
 M (本数) = D (深度m) ÷ 3 + 1 (端数切り捨て)
 2. アルミカップリング数量の算出は、次式による。
 N (個数) = M (アルミケーシング本数) - 1
 3. 本表は、1方向または2方向で0.5～1.0m間隔、深度50m以内の場合に適用し、これ以外の場合には、別途計上する。
 4. 撤去を行う場合は別途計上する。
 5. 交通費は別途計上すること。

703-106-02 挿入式孔内傾斜計観測

施工単価コード	WS203111
---------	----------

(1孔当り 1回当り)

種別	細別	単位	数量	摘要
人件費	主任地質調査員	人	0.1	
	地質調査員	〃	0.1	
材料費	雑品	式	1	直接人件費の1%
機械損料	孔内傾斜計	台・日	0.1	

- (注) 1. 本表は、1または2方向で0.5m～1.0m間隔、深度50m以内の場合に適用し、これを超える場合には、別途計上する。
 2. 交通費は別途計上すること。

12-4 段階揚水（7段階×3時間）試験

施工単価コード

DXB51500

(1ヶ所当り)

規 格	規 格 等	単 位	鋼 管 口 径 区 分		
			φ 1 0 0 m / m	φ 1 5 0 m / m	φ 2 0 0 m / m
地質調査技師		人	4.00	4.00	4.00
主任地質調査員		人	4.00	4.00	4.00
地質調査員		人	7.90	7.90	7.90
軽 油		ℓ	66.00	168.00	360.00
ライトバン運転費		日	4.00	4.00	4.00
発動発電機	10kVA	日	4.00		
発動発電機	35kVA	日		4.00	
発動発電機	75kVA	日			4.00
発動発電機	100kVA	日			
発動発電機	150kVA	日			
水中モーターポンプ	65m/m 2.2kw	日	4.00		
〃	80m/m 7.5〃	日		4.00	
〃	100m/m 11〃	日			4.00
〃	125m/m 15〃	日			
〃	150m/m 37〃	日			

規 格	規 格 等	単 位	鋼 管 口 径 区 分	
			φ 2 5 0 m / m	φ 3 0 0 m / m
地質調査技師		人	4.00	4.00
主任地質調査員		人	4.00	4.00
地質調査員		人	7.90	7.90
軽 油		ℓ	480.00	690.00
ライトバン運転費		日	4.00	4.00
発動発電機	10kVA	日		
発動発電機	35kVA	日		
発動発電機	75kVA	日		
発動発電機	100kVA	日	4.00	
発動発電機	150kVA	日		4.00
水中モーターポンプ	65m/m 2.2kw	日		
〃	80m/m 7.5〃	日		
〃	100m/m 11〃	日		
〃	125m/m 15〃	日	4.00	
〃	150m/m 37〃	日		4.00

〔2〕道 路 設 計

目 次

1. 道路設計	設道路	1
1-1 打合せ等		1
1-2 道路概略設計		1
1-3 道路予備設計		5
1-4 道路詳細設計		14
1-5 各歩掛補正の算出例		25
1-6 道路設計における本線設計とそれに付属する設計の歩掛上の区分		26
1-7 用地幅杭計画		26
2. 平面交差点設計		27
2-1 平面交差点予備設計		27
2-2 平面交差点詳細設計		30
3. 雪況調査対策工検討設計		34
3-1 吹雪調査対策工検討設計		34
3-2 雪崩調査対策工検討設計		39

3 雪況調査対策工検討設計

3-1 吹雪調査対策工検討設計

3-1-1 適用範囲

本歩掛は、道路事業に係わる吹雪調査を委託業務により実施する場合に適用する。

3-1-2 業務等の費用

(1) 業務等の費用および積算

- 1) 業務等の内、「定点観測」、「雪況調査」および「移動観測調査」等現地調査に係わる費用および積算等は「測量業務等委託積算基準」による。
- 2) 業務等の内、「資料収集整理」、「吹雪危険度評価」および「防雪対策工の選定」等検討業務に係わる費用および積算は「設計業務等委託積算基準」による。

3-1-3 作業区分

吹雪調査の業務内容は以下のとおりとする。

名 称	区分	業 務 内 容
計画準備	設計	業務の目的・主旨の把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、以下の項目の内容を記載した業務計画書を作成する。 ①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥品質を確保するための計画、⑦成果品の内容、部数、⑧使用する主な図書および基準、⑨連絡体制（緊急時含む）、⑩使用する主な機器、⑪照査計画、⑫その他
現地踏査	設計	設計図書に示す当該調査地域における地形、地質、地物、植生および土地利用状況等周辺環境の把握・確認を行う。また、定点気象観測機器の設置位置の選定も合わせて行う。
資料収集整理	設計	設計図書に示す当該調査地域における吹雪発生の危険性および対策工設計に関する資料を収集整理する。 ・道路管理図面等（路線管理図、道路台帳図、道路管理資料など） ・過年度報告書（当該箇所および周辺路線の気象特性、設計値等の確認） ・近傍の気象観測データ（周辺アメダス、テレメータ：収集期間過去5箇年）
定点観測 (機器設置撤去・ 調査)	測量	現地踏査で選定された箇所に、以下の内容で気象観測を実施する。 ・気象観測機器設置・撤去（1箇所） ・機器データ回収および保守点検は月1回程度とする。 観測項目は風向・風速、気温、積雪深および視程等があり、設計図書で明記する。

名 称	区分	業 務 内 容
雪況調査	測量	吹雪発生が予想される日に、以下の項目を調査する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日の調査範囲：対象路線の概査・積雪横断観測（4断面／日） ・ 調査項目：吹雪発生状況の写真撮影 吹雪発生状況のハンディビデオ撮影（必要箇所） 路面上への吹きだまり状況 対策工の効果確認、積雪横断観測
移動観測調査 ＜参考1＞	測量	路線上で吹雪発生箇所が特定されていない場合において、移動観測車を使用し、指定された路線について移動しながら気象観測を行う。（風向・風速、気温、視程を計測し、車内でビデオ撮影を実施する。）
調査結果整理	測量	定点観測、雪況調査および移動観測調査結果を、吹雪特性を解析する基礎資料として図化等により整理する。
現地気象特性の解析	設計	定点観測結果および近傍の気象観測データ等を用いて、吹雪・吹きだまり量等の解析を行う。
雪況調査結果の解析	設計	雪況調査・移動観測調査結果より、対象箇所の冬期気象特性、障害発生状況等を取りまとめる。
吹雪危険度評価	設計	防災点検のランク外等の箇所は、解析結果を基に調査対象区間を周辺状況・道路構造等で区間割りし、各々について吹雪危険度を評価する。評価結果をもとに、吹雪対策施設の必要性やその優先順位について検討する。
防雪対策の選定	設計	対策工法を検討する場合は、吹雪危険度評価結果を考慮し、吹雪対策施設が必要と判断された区間について、適切な対策工法を選定する。
2次元数値シミュレーション ＜参考2＞	設計	選定された対策工の防雪効果を検証するために実施する。実施条件は、＜参考2＞説明による。 検討断面：1断面 計算ケース：2ケース（対策工なし・あり 等）
3次元数値シミュレーション ＜参考3＞	設計	選定された対策工を含む吹きだまり状況・特定場所の風向等、立体的防雪効果を検証するために実施する。実施条件は、＜参考3＞説明による。検討箇所：1箇所 計算ケース：2ケース（対策工なし・あり等）
対策施設の比較検討	設計	防雪対策の選定を実施した場合は、必要に応じて数値シミュレーション結果等を踏まえ、対策工の経済比較を実施し、選定された危険箇所に対して最適な対策工を提案する。
報告書作成	設計	本業務の成果として上記を取りまとめ、業務報告書を作成する。

3-1-4 標準歩掛

(1) 測量業務

区分	職 種	数量	単位	直接人件費				
				測 主 技	量 任 師	測 量 技 師	測 量 技 師 補	測 量 助 手
定点観測機器設置撤去		1	業務			1.6	0.6	2.8
定点観測調査 (測器データ回収・保守点検)		1	回			0.4	0.4	0.2
雪況調査		1	回			0.5	0.8	0.8
調査結果整理		1	業務			2.6	7.6	16.3

- 注) 1. 定点観測機器設置撤去(1箇所)は風向・風速計、気温計、積雪深計の3種類、6m支柱を標準とする。定点観測機器は、業務範囲で周辺地形等により気象の差異が明瞭であると認められる場合に2箇所以上設置する。
2. 定点観測機器設置撤去、定点観測調査は、測器1箇所/1業務を標準とする。
(視程や視認性を計測するための視程計・タイムラプスビデオは単独設置とする。また、別途電源工事が必要となり、工事費は別途見積とする。)
3. 雪況調査は対象路線の概査と路線上を含めた積雪横断観測(1測線)を標準とする。積雪横断観測は、調査箇所で周辺地形や道路構造等を考慮のうえ、吹雪障害を代表する地点とする。
4. 調査結果整理は定点観測データ整理および雪況調査3回分程度を整理する場合を標準としている。
5. 標準以外は3-1-5歩掛の補正による。

(2) 設計業務

区分	職 種	数量	単位	直接人件費				
				主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員
計 画 準 備		1	業務	0.6	1.2	1.3		
現 地 踏 査		1	業務		1.1	1.3		
資 料 収 集 生 理		1	業務		0.2	1.3	2.3	2.4
現 地 気 象 特 性 の 解 析		1	業務		0.1	0.9	1.5	2.1
雪 況 調 査 結 果 の 解 析		1	業務		0.1	1.0	1.9	2.7
吹 雪 危 険 度 評 価		1	業務		1.0	1.7	2.6	0.8
防 雪 対 策 工 の 選 定		1	業務		0.7	1.4	2.4	0.6
対 策 施 設 の 比 較 検 討		1	業務	0.5	1.1	1.8	2.7	1.0
報 告 書 作 成		1	業務	1.0	1.7	2.9	3.7	0.4

- 注) 1. 1業務は、観測機器1測器、調査1箇所(測線)を標準とする。
2. 標準以外は3-1-5歩掛の補正による。

3-1-5 歩掛の補正

(1) 測量業務

1) 定点観測機器設置・撤去と定点観測調査の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 1) \times 0.2\} \quad \text{但し } n_1 \geq 2$$

n_1 : 測器セット数

2) 雪況調査の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_2 - 1) \times 0.2\} \quad \text{但し } n_2 \geq 2$$

n_2 : 調査箇所（測線）数

3) 調査結果整理の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + ((n_1 + n_2) - 2) \times 0.2\}$$

但し $n_1 + n_2 \geq 3$
 n_1 : 測器セット数、 n_2 : 調査箇所（測線）数

(2) 設計業務

1) 現地気象特性の解析の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 1) \times 0.7 / 3\} \quad \text{但し } n_1 \geq 2$$

2) 雪況調査結果の解析の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_2 - 1) \times 0.7 / 4\} \quad \text{但し } n_2 \geq 2$$

3) 吹雪危険度の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_2 - 1) \times 0.7 / 3\} \quad \text{但し } n_2 \geq 2$$

4) 防雪対策工の選定箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_2 - 1) \times 0.7 / 3\} \quad \text{但し } n_2 \geq 2$$

5) 対策施設の比較検討の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_2 - 1) \times 0.7 / 2\} \quad \text{但し } n_2 \geq 2$$

n_1 : 測器セット数、 n_2 : 調査箇所数

(3) 参考

<参考1：移動観測調査>

対象路線全体から吹雪危険箇所を抽出する必要がある場合に、移動観測調査を行う。

区分	職 種	数量	単位	直接人件費					
				測 量 主 技 師	測 量 任 師	測 量 技 師	測 量 技 師 補 助 手	普 通 作 業 員	
移動観測調査（移動観測車）		1	回			0.8	1.6	1.6	0.8
移動観測調査結果整理		1	回	0.1		0.9	1.6	3.4	

注) 1. 移動観測調査は、5km・5往復を標準とする。

2. 移動観測調査および結果整理は、増加単位を5kmとして距離補正を行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_3 - 5) / 5 \times 0.3\} \quad \text{但し } n_3 = 10, 15, 20$$

n_3 : 移動観測距離 (km)

なお、移動観測車による1日の移動距離は、観測区間と回送区間を合わせて40km/1往復、(200km/5往復・日)とする。

＜参考2：2次元数値シミュレーション＞

以下の条件が全て当てはまる場合、選定された対策工の防雪効果を検証するために2次元数値シミュレーションを実施し、対策工の妥当性を評価する。

- ① 対策工の選定で吹き止め柵・吹き払い柵・吹きだめ柵の中から2工種以上が選定された場合
- ② 吹き止め柵の柵高、設置位置の検討が必要な場合
- ③ 次年度詳細設計を実施する予定のある場合

区分	職 種	数量	単位	直接人件費				
				主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
2次元数値シミュレーション		1	断面	0.1	1.9	3.1	3.3	2.5

注) 1. 2次元数値シミュレーション実施の際は、電子計算機使用料を直接人件費の9%を直接経費として計上する。

2. 2次元数値シミュレーションの検討断面数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times n_4 \quad \text{但し } n_4 \geq 1$$

n_4 : 検討断面数

＜参考3：3次元数値シミュレーション＞

以下に示すいずれかの条件が全て当てはまる場合、選定された対策工を含む吹きだまり状況・特定場所の風向等、立体的防雪効果を検証するために3次元数値シミュレーションを実施し、対策工の妥当性を評価する。

- ① 対策工の施工範囲が周辺地形や他施設（道路構造物や家屋等）の影響により、立体的防雪効果をもとに設定する必要がある場合。
- ② 対策工を施工することによって、他施設（道路構造物や家屋等）への影響が懸念される場合。

区分	職 種	数量	単位	直接人件費				
				主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
3次元数値シミュレーション		1	断面		2.5	6.2	13.1	9.0

注) 1. 3次元数値シミュレーション実施の際は、電子計算機使用料を直接人件費の9%を直接経費として計上する。

2. 3次元数値シミュレーションの検討箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times n_5 \quad \text{但し } n_5 \geq 1$$

n_5 : 検討箇所数

3-2 雪崩調査対策工検討設計

3-2-1 適用範囲

本歩掛は、道路事業に係わる雪崩調査を委託業務により実施する場合に適用する。

3-2-2 業務等の費用

(1) 業務等の費用および積算

- 1) 業務等の内、「定点観測」および「雪況調査」等現地調査に係わる費用および積算は「測量業務等委託積算基準」による。
- 2) 業務等の内、「資料収集整理」、「雪崩危険斜面の抽出・危険度評価」および「対策工法の概略検討」等検討業務に係わる費用および積算は「設計業務等委託積算基準」による。

3-2-3 作業区分

雪崩調査の業務内容は以下のとおりとする。

名 称	区分	業 務 内 容
計画準備	設計	業務の目的・主旨の把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、以下の項目の内容を記載した業務計画書を作成する。 ①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥品質を確保するための計画、⑦成果品の内容、部数、⑧使用する主な図書および基準、⑨連絡体制（緊急時含む）、⑩使用する主な機器、⑪照査計画、⑫その他
現地踏査	設計	設計図書に示す当該調査地域における地形、地質、地物、植生および土地利用状況等周辺環境の把握・確認を行う。また、定点気象観測機器の設置位置の選定も合わせて行う。
資料収集整理	設計	設計図書に示す当該地域における雪崩発生の危険性および対策工設計に関する資料を収集整理する。 ・道路管理図面等（路線管理図、道路台帳、地形図、道路管理資料など） ・過年度報告書（当該箇所および周辺斜面での雪崩発生状況、設計積雪深、地質等の確認） ・北海道開発局30年確率最大積雪等深線図 ・設計積雪深算定に係る資料 （近傍のアメダスまたはテレメータの積雪深データ：収集期間は30年以上を基本とする。）
定点観測 （機器設置撤去・ 調査・データ整理）	測量	近傍の気象観測データを準用できない場合に、現地踏査で選定された定点において、以下の内容で気象観測を実施する。 ・気象観測機器設置・撤去（1箇所） ・機器データ回収および保守点検は月1回程度とする。 観測項目：風向・風速、気温、積雪深があり、設計図書で明記する。

名 称	区分	業 務 内 容
雪況調査・ 調査結果整理	測量	対象とする切土法面および自然斜面について、植生状況、地形状況、斜面積雪状況、雪崩発生状況を現地調査し、雪崩危険箇所を抽出する基礎資料として図化等により整理する。 ・1日の調査範囲：対象斜面（3斜面/日）の概査・積雪横断観測（3断面） ・調査項目：雪崩発生状況の写真撮影、路線上への雪害状況 積雪横断観測、対策工の効果確認
雪崩危険斜面の抽出・危険度評価	設計	資料収集整理および現地調査結果から、植生状況分布図、勾配状況分布図、見通し角分布図、雪崩発生状況図を作成のうえ雪崩発生危険箇所を抽出する。抽出した発生危険箇所、保全対象条件、および定点気象観測結果で得た当該箇所の冬期気象特性を勘案のうえ、斜面に対する雪崩危険性の度合いを評価し、雪崩対策施設の必要性やその優先順位について検討する。
雪崩運動解析	設計	雪崩発生範囲ならびに各斜面について雪崩発生厚を設定し、その流下状況や速度を把握するために、雪崩流下経路および速度再現シミュレーションを実施する。 実施条件は、「①斜面長50m以上」、「②斜面法尻と道路路肩の間が一次・二次堆雪幅以上」のいずれかを満たす場合とする。
対策工法の概略検討	設計	雪崩対策施設が必要された箇所について、調査区域の勾配・地形・土質・雪崩の種類等を考慮のうえ、発生区・走路・堆積区の各区分で対策工法を複数案選定する（一次選定）。また、経済性、施工性、工法の有効性等について比較検討し最適工法を選定する（二次選定）。選定した最適工法が、最も有効にその効果を発揮するよう概略の配置計画を行う。
報告書作成	設計	本業務の成果として上記を取りまとめ、業務報告書を作成する。

注) 雪崩対策施設において走路および防護対策工が勘案される場合は、設計高さ、雪崩衝撃力、対策範囲を設定するために、必要に応じて「雪崩運動解析」を実施するものとする。

3-2-4 標準歩掛

(1) 測量業務

区分	職 種	数量	単位	直接人件費				
				測 主 技	量 任 師	測 量 技 師	測 量 技 師 補 助 手	普 通 作 業 員
定点観測機器設置撤去		1	業務			1.6	0.6	2.8
定点観測調査 (測器データ回収・保守点検)		1	回			0.4	0.4	0.2
定点観測データ整理		1	業務			0.8	3.1	5.8
雪況調査		1	回			0.3	0.5	0.3
調査結果整理		1	業務	0.6		1.7	2.0	2.9

- 注) 1. 定点観測機器については、必要性について事前に検討すること。定点観測機器を設置する場合は、風向・風速計、気温計、積雪深計の3種類、6m支柱を標準とする。定点観測機器を設置しない場合は、定点観測機器設置撤去、定点観測調査(機器データ回収・保守点検)および定点観測データ整理は計上しない。
2. 定点観測機器設置撤去、定点観測調査は、測器1箇所/1業務、道路脇に設置することを標準とする。斜面上に設置する場合は道路脇の場合の150%とする。
3. 雪況調査は、斜面条件を面積1,000㎡以上37,000㎡未満・積雪深4m未満・直高10m以上35m未満、かつ積雪横断観測1測線を標準とする。
4. 調査結果整理は、上記3.の場合で3回程度の実施を標準としている。
5. 標準以外は3-2-5歩掛の補正により歩掛を補正する。

(2) 設計業務

区分	職 種	数量	単位	直接人件費				
				主 任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技 術 員
計 画 準 備		1	業務	0.6	0.8	0.8		
現 地 踏 査		1	業務		0.7	0.8		
資 料 収 集 生 理		1	業務			1.2	2.3	3.6
雪崩危険箇所の抽出 ・危険度評価		1	業務		0.7	1.1	1.5	1.5
雪崩運動解析		1	業務	0.5	0.8	1.6	1.5	
対策工法の概略検討		1	業務	0.4	0.6	1.1	1.7	1.0
報告書作成		1	業務	0.8	1.4	2.0	2.2	0.4

- 注) 1. 1業務は、斜面条件を面積1,000㎡以上37,000㎡未満、積雪深4m未満、直高10m以上35m未満を標準とする。
2. 資料収集整理は、アメダス1箇所あたり過去30年程度、テレメータ1箇所あたり収集可能（平均過去10年程度を目安）な積雪深データを収集する。テレメータデータの不足分（平均過去20年程度）は、テレメータとアメダスとの相関式で補完することを基準とする。
なお、箇所数の増減による歩掛補正は行わない。
3. 標準以外は3-2-5歩掛補正により歩掛を補正する。

3-2-5 歩掛の補正

(1) 測量業務

1) 箇所数による補正

① 定点観測機器設置撤去の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_1 - 1) \times 0.2\} \quad \text{但し } n_1 \geq 2$$

n_1 : 測器セット数

② 定点観測調査の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_2 - 1) \times 0.2\} \quad \text{但し } n_2 \geq 2$$

n_2 : 定点観測調査箇所数

③ 雪況調査の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_3 - 1)\} \quad \text{但し } n_3 \geq 2$$

n_3 : 雪況調査箇所（測線）数

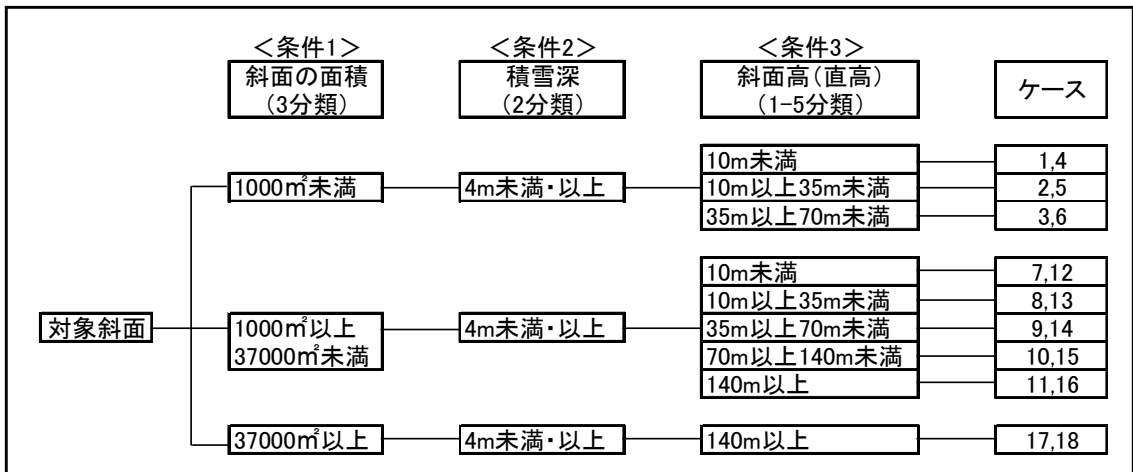
④ 調査結果整理の箇所数の補正は、次式により行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_3 - 1) \times 0.2\} \quad \text{但し } n_3 \geq 2$$

n_3 : 雪況調査箇所（測線）数

2) 斜面条件による補正

① 斜面条件の差異による増減率は、下図フローで選定されたケースの係数（下表参照）を採用のう
え、歩掛に乗じるものとする。



斜面	斜面の面積	積雪深	斜面高(直高)	ケース	雪況調査	備考
人工法面 自然斜面	1000㎡未満	4m未満	10m未満	1	0.6	
			10m以上35m未満	2	0.8	
			35m以上70m未満	3	1.0	
		4m以上	10m未満	4	0.6	
			10m以上35m未満	5	0.8	
			35m以上70m未満	6	1.0	
	1000㎡以上 37000㎡未満	4m未満	10m未満	7	0.8	
			10m以上35m未満	8	1.0	標準
			35m以上70m未満	9	1.7	
			70m以上140m未満	10	2.4	
			140m以上	11	3.1	
		4m以上	10m未満	12	0.8	
			10m以上35m未満	13	1.0	
			35m以上70m未満	14	1.7	
			70m以上140m未満	15	2.4	
			140m以上	16	3.1	
37000㎡以上	4m未満	140m以上	17	3.1		
	4m以上	140m以上	18	3.1		

(2) 設計業務

1) 箇所数による補正

①雪崩危険斜面の抽出・危険度評価については、次式により箇所数の補正を行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_3 - 1) \times 0.7\} \quad \text{但し } n_3 \geq 2$$

②雪崩運動解析については、次式により箇所数の補正を行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_3 - 1) \times 0.7\} \quad \text{但し } n_3 \geq 2$$

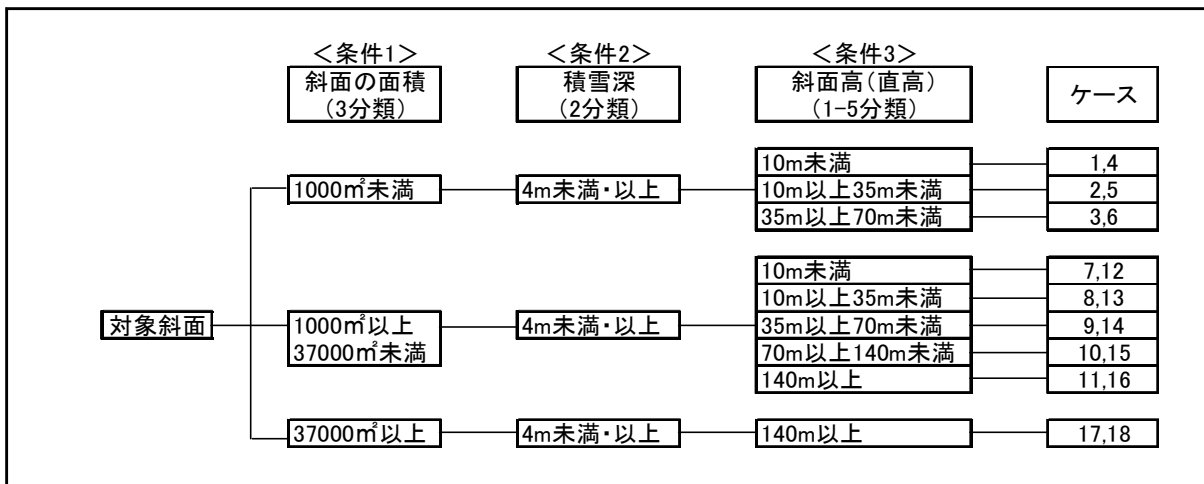
③対策工法の概略検討については、次式により箇所数の補正を行う。

$$\text{歩掛} = \text{標準歩掛} \times \{1 + (n_3 - 1) \times 0.7\} \quad \text{但し } n_3 \geq 2$$

n_3 : 雪況調査箇所数

2) 斜面条件による補正

①斜面条件の差異による「雪崩危険斜面の抽出・危険度評価」、「雪崩運動解析」、「対策工法の概略検討」増減率は、下図フローで選定されたケースの係数（下表参照）を採用のうえ、各々の歩掛に乘じるものとする。



斜面	斜面の面積	積雪深	斜面高(直高)	ケース	雪崩危険斜面の抽出	雪崩運動解析	対策工法の概略検討	備考
人工法面 自然斜面	1000㎡未満	4m未満	10m未満	1	0.6	0.6	0.6	
			10m以上35m未満	2	0.8	0.8	0.8	
			35m以上70m未満	3	1.0	1.0	1.0	
		4m以上	10m未満	4	0.6	0.6	0.8	
			10m以上35m未満	5	0.8	0.8	1.0	
			35m以上70m未満	6	1.0	1.0	1.2	
	1000㎡以上 37000㎡未満	4m未満	10m未満	7	0.8	0.8	0.8	
			10m以上35m未満	8	1.0	1.0	1.0	標準
			35m以上70m未満	9	1.4	1.7	1.2	
			70m以上140m未満	10	1.8	2.4	1.4	
			140m以上	11	2.2	3.1	1.6	
		4m以上	10m未満	12	0.8	0.8	1.0	
			10m以上35m未満	13	1.0	1.0	1.2	
			35m以上70m未満	14	1.4	1.7	1.4	
			70m以上140m未満	15	1.8	2.4	1.6	
	37000㎡以上	4m未満	140m以上	16	2.2	3.1	1.8	
			4m以上	17	2.6	3.1	2.0	
		4m以上	18	2.6	3.1	2.2		

804-403-03 樋門詳細設計（柔構造形式（電算タイプ））

設計計画～報告書作成
（構造設計、数量計算を除く）

施工単価コード WS303301～WS303311

構造設計、数量計算

施工単価コード DXC44005～DXC44014

標準 RC構造：一連当り断面積2m²以上7m²以下×1連×40m

（1箇所当り）

区分	職 種	直接人件費					
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
設計計画			0.5	2.0	1.0		
現地踏査			0.5	1.0	1.5		
基本事項の決定		1.0	2.5	4.5	7.5		
景観設計			1.0	1.5	2.0		
構造設計	設計条件の確認		1.0	2.0	3.5		
	基礎工		2.0	4.0	8.5	3.0	
	高水護岸・低水護岸及び土工				2.0	3.5	5.0
	呑口部修正		0.6	1.3	1.3		
	吐口部修正		0.6	1.3	1.3		
施工計画			1.0	1.5	5.0		
仮設構造物設計			1.0	2.5	5.0		
数量計算					1.2	2.8	4.6
パース作成				1.0	3.5		
照 査		1.0	1.0	2.0	1.0		
報告書作成			1.5	3.0	3.5		
合 計		2.0	13.2	26.6	44.3	9.3	9.6

- (注) 1. 予備設計を行わないで詳細設計を行う場合は、「4-1適用範囲及び留意事項の5)」によるものとする。
2. 呑口・吐口の設計については、電算プログラムで対応できるタイプ以外のコンクリート構造の呑吐口について計上すること。
3. 基礎杭の設計を必要とする場合は別途計上すること。
4. 施工計画の歩掛は、地盤処理工を含まない場合である。
5. 景観設計において特別の検討を行う場合は、「804-403-01注) 5.」による。
6. 構造設計において地盤処理工（置換基礎）の検討を行う場合は、「804-403-01注) 6.」による。
7. 施工計画で地盤処理工（置換基礎）を含む場合は、「804-403-01注) 7.」による。
8. 電算プログラム使用料として「804-403-05 電算プログラム使用による設計費」を別途計上すること。

804-403-04 樋門詳細設計（剛支持直接基礎（電算タイプ））

設計計画～報告書作成
（構造設計、数量計算を除く）

施工単価コード	WS303401～WS303411
---------	-------------------

構造設計、数量計算

施工単価コード	DXC44205～DXC44215
---------	-------------------

標準 RC構造：一連当り断面積5m²以下×1連×2スパン

（1箇所当り）

区 分 \ 職 種		直 接 人 件 費					
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
設計計画			0.5	2.0	1.0		
現地踏査			1.0	1.0	1.5		
基本事項の決定		1.0	2.0	2.0	3.5		
景観設計			1.0	1.5	2.0		
構造設計	設計条件の確認		1.0	2.0	2.0		
	基礎工			2.0	2.0	3.0	
	躯体工				1.3	2.6	4.8
	高水護岸・低水護岸及び土工				2.0	3.5	5.0
	呑口部修正		0.6	1.3	1.3		
	吐口部修正		0.6	1.3	1.3		
施工計画			1.0	1.5	2.5	2.5	
仮設構造物設計			1.0	2.5	4.5		
数量計算					1.3	2.3	3.8
ベース作成				1.0	3.5		
照査		1.5	1.0	2.0	1.0		
報告書作成			1.5	3.0	3.5		
合計		2.5	11.2	22.1	30.7	13.9	13.6

- (注) 1. 予備設計を行わないで詳細設計を行う場合は、「4-1 適用範囲及び留意事項の5)」によるものとする。
2. 呑口・吐口の設計については、電算プログラムで対応できるタイプ以外のコンクリート構造の呑吐口について計上すること。
3. 基礎杭の設計を必要とする場合は別途計上すること。
4. 施工計画の歩掛は、地盤処理工を含まない場合である。
5. 景観設計において特別の検討を行う場合は、「804-403-02 注) 5.」による。
6. 構造設計において地盤処理工（置換基礎）の検討を行う場合は、「804-403-02 注) 6.」による。
7. 施工計画で地盤処理工（置換基礎）を含む場合は、「804-403-02 注) 7.」による。
8. 電算プログラム使用料として「804-403-05 電算プログラム使用による設計費」を別途計上すること。